無産階級闘争雑誌

進め

三月十五日を紀念して
清黨運動同盟を支持せよ

定價十錢

第七巻・二　月・第三號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

本號一瞥

卷頭言

反動、日和見、左翼彼等の歸結と吾等 …… 川崎茂

清黨運動同盟鬪爭顚末記 ……

■ダラ幹退治（漫畫）　清黨運動ゴシツプ■

全國勞農青年同盟の反動的傾向を克服せよ …… 清水寬一

清黨運動は如何なる處迄進展したか …… 舊日勞黨 重松清美

全土戰報

結束を固めて暴壓と裏切者に逆襲する勞青大阪支部 …… 大阪 K K 生

中部の清黨運動 …… 清黨同盟名古屋支部

搾取の都岡谷の清黨運動 …… 進め社岡谷支局

清黨運動信州戰線 …… 同、松本支局

進めを讀んで退學…（所謂文化政策の正體）…… 朝鮮 赤火線生

加越戰線漫報 …… 進め礪波支局

全青同盟大阪支部の受難と活躍記錄 …… 河邊支局 眞松淸兵

戰ひ拔く我が讀者會 …… 進め大阪讀者會

酷使反對に蹶起せよ …… 熊本 永井松君

人形的官製青年團に魂を入れよ …… 津田村自由青年團

讀者會を組合組織に進出す …… 大阪 泊 遠支局

所謂「家族的」の言葉を粉碎せよ …… 永田榮澄

山陰はダラ幹排擊に決定したぞ …… 島根 片寄一郎

俺達は鬪爭を忘れない …… 鳥取 日大黨員

血にまみれし和歌山小黨派 …… 大谷久

黨大會を開けと肉迫する高知の大衆 …… 高知縣 Y 生

暴壓と戰ふ元山ストライキ …… 朝鮮 元山支局

京都の大衆は事實の糺明を要求してゐるぞ …… 舊日勞黨員

檄　　　　　　　　　　　勵　　　　　　　　　　　書 …… 日本大衆黨松江地方準備會

官憲の垣の中に成立した日本大衆黨中央執行委員會の傍聽實見記 ……（長野縣支部聯合會）工藤勝市

福田狂二氏除名に對する抗議書 …… 日本大衆黨島根聯合會

自殺外交 …… 佐々木敬三

■進め戰鬪歌　進め社だより■

勞農靑　同盟の危機と鬪へ …… 中川徹

社會主義運動思出話（其七）…（特別讀物）… 岡野辰之介

日本社會運動は刻々として動く

無產政治運動、勞働運動、婦人運動、青年運動、水平運動、農民運動、文藝運動、國際運動の辿りつゝある道を示す

週刊

日本社會運動通信

一月 二十圓
一年 二百圓

發行所

東京市麴町區內幸町一ノ五
中林ビルヂング內

日本社會運動通信社

振替東京七八五五九番
電話銀座三六八二番

全國農民組合機關紙

働く農民に土地を保證せよ

全國農民の血をわかす吾等の巨砲

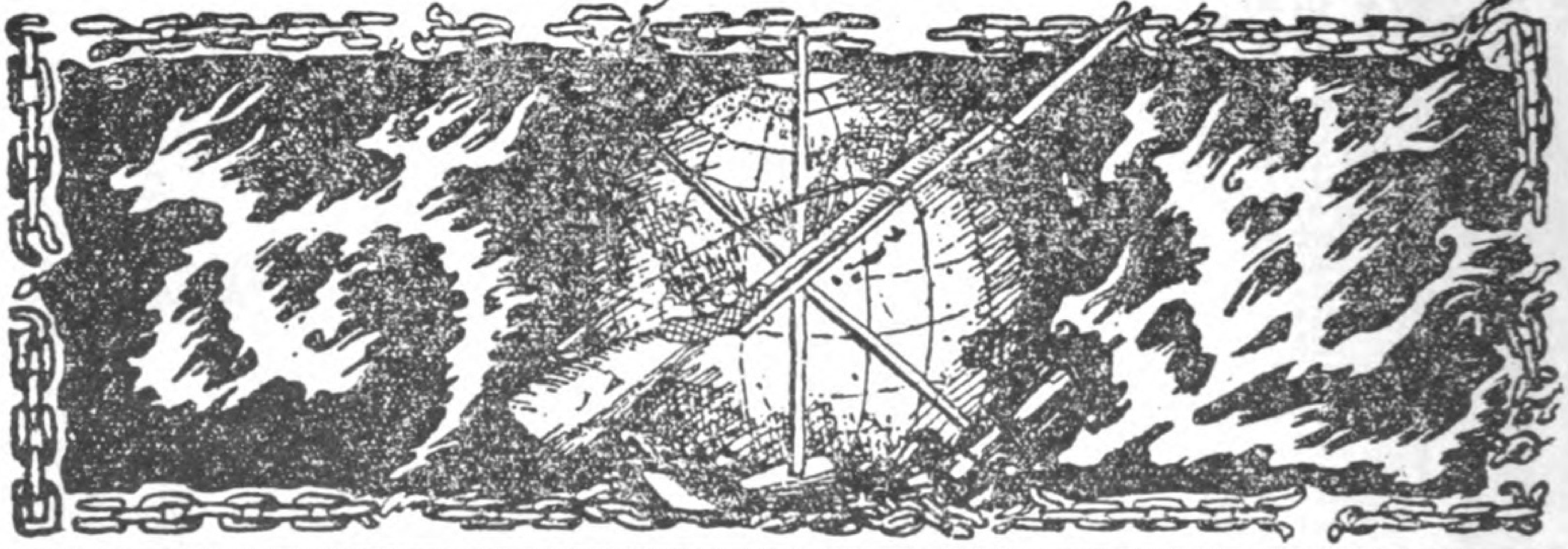
土地と自由

月刊一部五錢

大阪市北區堂島濱通

全國農民組合本部

萬國の無產者團結せよ



第七年◆戰鬪◆進め◆雜誌◆第三號

三月十五日を紀念せよ

顧みれば一年前、卽ち千九百二十八年の三月十五日、田中反動內閣を先頭とする日本ブルヂョアジイの×××ズム的××下に、××××黨の檢擧逮捕が行はれて以來、打續く支配階級の全線的攻勢は、或は左翼三團體の解散となり、治安維持法の改惡となつて左翼戰線とその戰鬪的鬪爭は到る處にじうりんされた。野田、足尾、香川等々の組織地盤を始めとして、全土の勞働者農民の上に暴壓の嵐は吹き荒れ、對支出兵反對、香川奪還・日本共產黨公判公開の要求、舊勞働黨の再建、岐阜農民の××、富山縣下の電燈料値下の鬪爭は、ことごとく×××と××によつてふみにぢられた。

果然、この支配階級の彈壓政治に呼應したものがあつた。卽ち左翼戰線の破壞を好機として火事泥式進出を試みんとした右翼團體の指導者と、自ら「日本無產運動の正道を步む者」と呼號してゐた舊日勞黨の幹部であつた。彼等は、ファシスト政黨への轉換を試み、田中反動內閣からの厚き恩賞と賞讃を目論んだのである。これらの傾向の代表者麻生君は「今でも眞面目にファシスト政黨組織の計畫を考へてゐる」と恥しげもなく大衆の前に發言し其の綱領草案をも作製した。此の麻生の傾向に追隨し、否よき伴侶者たる河野田所の面々は戰線統一の美名にかくれて、その同志平野力三と手を握り、支配階級の面前において階級的良心の一片なら投捨て、日本大衆黨三十萬の黨員を餌食となし、政友會內閣の思想善導役の分け前にあづかつたのである。

かゝる反動的裏切的傾向に直面し、われ等は大衆の壓力をもつて反動主義者を粉碎し、無產階級の戰鬪的統一に邁進すべく、先に淸黨運動同盟を組織し、平野、麻生、河野等の醜狀を暴露した。こゝにおいて日本大衆黨の階級的黨員を動員し、見よ！別子に山陰に高知に兵庫に大阪に信州に全土にわたつて淸黨運動の旗翳かざる地無き有樣となつた。

われらの淸黨運動は、無產階級を支配階級に賣らんとする反動主義者を粉碎し、日本大衆黨をして彼等の毒手より奪取して、戰鬪的統一への巨步を進めるであらう。われらもかつて社會民主主義的統一の幻影に醉はされた事もあつた。これも河野田所等の支配階級の廻し者のいぶした毒香の御蔭であつたのだ。前衞的鬪爭を孤立化せんとする統一の如何に反動的であるかを、我等は日本大衆黨の成立以來、又淸黨運動同盟の鬪爭過程において實踐に於て學んだのである。

われら淸黨同盟は、成立以來幾多の誤謬を犯したではあらう。しかし、支配階級の强大が何であるかを暴露し、大衆の廣汎なる動員を促したるは、淸黨同盟の輝ける階級的功績である。われらは誤謬は誤謬として勇敢に認め、更に大衆的規模の上に、反動主義と戰ひ鬪爭的統一へ押し進むであらう。

日本大衆黨幹部の反動化事件、賣黨事件は發生的に見れば昨年三月十五日以來の支配階級の暴壓に對する恐怖からであつた。この白色××の所產を克服すべく淸黨運動を組織し、果敢なる鬪爭によつて裏切幹部の耳朶を震撼せしめつゝこゝに意義深き三月十五日を迎へる。

紀念せよ、三月十五日

××と極刑、呻吟しつゝある前衞を外に、左翼戰線の破壞を外に、否、逆に×旗をかついで支配階級に降伏した平野麻生の現日本大衆黨の裏切者を放逐する爲めに、社會民主主義的統一主義を粉碎する爲めに日本大衆黨員諸君、われらは戰ふであらう。

三月十五日を紀念して淸黨運動同盟を支持せよ！

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

反動、日和見、左翼 彼等の歸結と我等

川崎茂

一

日本大衆黨の刷新運動は形式的には一先づ反動的幹部派の勝利に歸した如くである。卽ち多數派たる幹部派は去る十三日中央執行委員會に於て、反對派幹部の錚々連及び常任、統制委員辭任を却て好餌として遂に「斯くの如き事實なきもの〻如し」と幹部の醜事實及反動化の陰謀を全く「臭いものに蓋」で隱蔽するの形式を取つた而して事實の摘發者を却て除名處分に附し、斯くて「我々は事實の糾明、問題の解決に於て任務を果し得なかつた」理由に依り辭任した常任及び統制委員の後任に反動幹部派を選任して、全く醜類一派を以て黨の機關を占領するに至つたのである。

而して今後「淸黨運動」や「分派的組織」等により統制撹亂者を斷乎として處分し、此の處分權を次期大會まで常任執行委員會に一任する事を決議し、いよ〱その反動化を意識的に硬化するに至つた。

何たる醜惡！何たる厚顏無恥の處置ぞ！彼等に階級的良心の一片もなく、否ブルジョア社會に於ける人間的良心すらも有しない。彼等は既成ブルジョア諸政黨と何等撰ぶところなき陋劣醜惡、言語に絶するシロ者である。

勞働者農民を賣る我々の最惡の敵である！

然も、彼等の醜惡なる事實が今や明瞭に曝露され、其の反動化の目的——卽ち勞働者農民の大衆を支配階級に賣り、支配階級の道具たらしめんとする事實が斯くも一般に認められ、更に階級的正義派たる少數幹部の反對、黨員大衆の猛烈なる排斥、階級性擁護の叫びが全國的に捲き起り、幹部辭任ダラ幹放逐の聲明、抗議、激、電報が彈雨と殺到したるに拘らず、彼等醜類の一味は此大衆の聲一切を握りつぶし小數反對幹部を壓伏して、反動の巨魁が最高幹部として居据はらす事に全力を盡して之に努め、一先づ成功せしめるに至つた事は、我無産階級運動の最惡の事件、歷史的最大汚辱として我々は深く銘記せねばならぬ！

今や日本大衆黨の機關は完全に反動幹部の醜類一味に依つて横領されてゐる。彼等はいよ〱專擅的に君臨し大衆の階級的進出を抑壓し、彼等の意圖たる反動的國粹主義に意識的に轉向せんとする。然しながら彼等は要するに政治的投機業者たるに過ぎぬ。彼れ等の根據は極めて薄弱なるものである。彼れ等は反動の彈壓を恐れて帝國主義の番犬たらんとするも、無産階級の進出は彼れ等の意圖を粉碎し、彼れ等を階級戰途上の血祭として葬去るであらう。我等は確信する。彼れ等同臭一味の反動者が其の假面を引むかれて階級戰線の外に投出される事が近き將來であることを。我等の運動、我等の組織、我等の日常鬪爭、我等の活潑なる階級鬪爭が——勞働者農民の進出が今に彼れ等の陰謀を粉碎し覆滅せしむるであらう。

二

日本大衆黨は合同の當初に於て種々雜多の傾向を有する大小諸黨の寞然たる無條件合同——ひたすらなる統一の爲めの統一であつた。そのうち、舊日本農民黨が反動的農民ボッス一味により組織され、非階級的行動のあらゆる罪惡を犯した事、政治的取引投機を本職とする平野の道具化してゐた事は餘りにも衆知の事實であつた。

舊日本勞農黨はその幹部の古き鬪士としての誇りと、階級的立場の嚴守を一枚看板としてゐた故に大衆はその表面の言辭に依つて僞瞞されてゐた。然るに彼れ等の僞瞞と裏切が合同黨成立の前後に於て漸く明瞭となり、今次日淸黨運動刷新運動として彼れ等の反動化の陰謀が白晝に曝露されるに至るや否や、彼れ等大小の同臭一味の幹部はいよ〱其本性を曝け出し益々硬化するに至つた。

彼れ等が農民ボッスの巨魁と共に手を握り黨員大衆と明確に對立するに至つた事は、彼れ等の必然とは云へあはれむべき最後のドタン場であつた。

彼れ等は益々大衆の進出を壓迫し、專擅を奮ひ、益々黨員大衆と對立するに至るであらう。そして我々の鬪爭の進展に依つて益々反動へいよ〱國粹黨の陣營へ追ひ込まれるであらう。我々は今後も絶えず起る、無産階級の陣營內の反動を急速に徹底的に覆滅し摘發して階級戰の本營を守らねばならぬ。彼等の非階級的行動とそのイデオロギーをあます處なく曝露し排擊し階級性を擁護せねばならぬ。

三

舊日本勞農黨の書記長麻生久は統制委員會の調べに於て次の如く自白してゐる。

×旗問題に就て「現在の如き右翼化運動では困るから××運動を行ふには×旗の下に集まり封建勢力と結んでブルジョアを〇〇すると云ふ事が、まじめに××をやらうとするものの問題である……………自分は今で

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

も此問題をまじめに考へてゐる」

尚ほ統制委員會報告書中×旗問題に關して猪俣津南雄氏の陳述には左の如き個所がある。

「十月末田所君に會ひ、田所君は『麻生が日勞黨を××中心主義か國粹主義の綱領を出させる運動をやつてゐる。そして昭和三年度大會に於て此綱領を通過せしむれば數十萬圓の金がは入る。』と稱し其綱領草案を示し、尚淺沼、莊原君からも此事を簡單乍ら聞いた。又田所君は山川均氏を訪ひ此話を持ちかけた事もある云々」

彼れ等の計劃が奈邊にあつたか？彼れ等の針路が何れに向つてゐたか？最早明瞭である。彼れ等は日本大衆黨を反動的國粹黨たらしめんとする！之以上の裏切が又とあらうか。然も之は單に麻生君のみでなく舊日勞黨の同類一味の幹部が必然的に向ふ歸結である。

國際的勞働者農民の結合インタナショナリズムに孤立して、思想的にも實踐的にも大衆に無産階級運動から遊離して行つた彼れ等の中間的存在が、必然に行くべき所に行くまでゞある。

四

舊無産大衆黨はその純眞なる無産階級的良心と、思想的立場の厳守とにより頗る善良なる企圖を有するにも拘らず、彼れ等の實力の微弱なると實踐的日和見主義との結果右翼反動との闘爭に於て屡々、それを回避して來た。彼れ等は舊勞農黨から分裂して以來「勞農戰線の進出的再建」をスローガンとして單一無産政黨主義、共同戰線黨の組織を極力主張しひたすらなる合同に走つたが、その合同に於いて彼れ等は單なる無條件合同に賛成し結局綱領に於ても役員に於ても總て讓歩し屈伏した。この時既に決定的な禍根は播かれてゐる。今回の清黨運動刷新運動に於ても、その幹部諸君の善良なる意圖の下に最善の努力をしたとは云へ、その日和見主義的戰術と實踐的闘爭回避の故に徹底的に戰ひ拔く機會を失し、遂ゝ反動幹部の硬化意識化と彼れ等の黨機關占領を可能ならしめる結果を來した。

「勞農戰線の進出的再建！」は右翼反動との決定的な闘爭勝利なくしては不可能だ。「共同戰線」は勞働者農民の要求を高く掲げて闘爭を回避する右翼反動幹部と大衆とを對立せしむる戰術ではないか。彼れ等の單一無産黨主義、合同の爲めの合同、ひたすらなる統一主義は、其の左翼的言辭にも拘らず、實踐に於ては益々右翼への合流を深める結果となり終りはせぬたらうか？然も左翼の再組織とその活動の進展が進めば進む程彼れ等の立場は、勞農戰線の再建どころか、勞農戰線の妨害者となり終りはせぬたらうか？

今回の事件の如く幹部の醜惡なる本質が明瞭なる時、この闘爭を戰ひ拔く事なくしては、このダラク幹部を放逐し盡す事なくしては、大衆をして眞實無産階級運動の方向へ進出せしむる事は出來ない。この絶好の機會をつかんでこそ彼れ等ダラ幹を放逐し得るではないか！闘爭を回避し闘爭を延期することは永遠に闘爭しない事である。

支部合同が完成しないからとか、準備が整はないからとかの種々の口實は要するに彼れ等が、反動幹部の鼻息を恐れるからではあるまいか？黨中黨として排斥せられることを苦にするのは議會主義の眞髓ブルヂョア民主主義の幻影を描いてゐるからではあるまいか。既に反動幹部は專制的に黨の機關を占領してゐるではないか？此闘爭を敢行することは決して黨を分裂せしむるものではない。分裂へ導くのは却て反動幹部の意識的目的ではないか。

五

我々は以上に於て舊各黨の幹部に依り代表される傾向と發展について述べたが、一般大衆の傾向はこれに一致するものではない。その内部に於ける種々分解し結合する作用は今後の闘爭の發展に於て右翼反動とそれに對立する左翼分子と、日和見主義者とが明確になつて行くたらう。

×

然らば我々は如何に戰ふべきか？我々の立場は今や明瞭である。我々は先づ彼等の醜事實、その陰謀計劃、その思想的政治的根據をあます處なく徹底的に曝露し批判せねばならぬ。此事實を陰蔽し又は彼等との闘爭を回避する日和見主義者を彼等と同罪と認め、一般勞働者農民大衆に態度を鮮明して大衆を狐疑晦迷から救ひ、反動幹部一派との闘爭に大衆を奮起せしめねばならぬ。

×

清黨運動刷新運動の旗を高く揭げ、公々然と彼等と對立して、現幹部の自決を要求し、彼等の除名處分に反對して徹底的に抗爭し無産階級の階級性を死守せねばならぬ！具體的には幹部反對のスローガンを揭け、日常闘爭の明確な要求スローガンと結び付け、あらゆる日常闘爭に於て精力的に敢行せねばならぬ。

此の闘爭を回避する日和見主義と戰ひ彼等の本質を曝露し、日和見主義的傾向を克服して勞働者農民の眞實の闘爭へ進出せねばならぬ！

勞働者農民を賣る反動幹部を放逐せよ！

勞農運動の階級性を死守せよ！

日和見主義者の裏切と戰へ！

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

清黨運動同盟闘争顚末記

清黨運動は何故起したか

われわれが清黨運動を起すに至つた理由は、以下掲載する如き反階級的所業を日本大衆黨の最高幹部平野力三、麻生久、田所輝明、河野密の諸君が爲したからである

これを放任する時は、あらゆる苦心を拂つて七黨合同を結成した日本大衆黨黨員の階級的熱意をじうりんする事であり、日本大衆黨をして怪しき旗をかつぎ廻らせる事であり、無産階級運動の歴史を汚させる事になるのだ。

われわれは、先づこの墮落幹部の裏切的野望を粉砕せねばならぬ事を確信し、清黨運動は無產階級の歴史的使命であると叫んで全土の勞働者農民諸君に訴へたのである。

「清黨」を出すに至る迄

リーフレット「清黨」はこの清黨運動の口火即ち日本大衆黨階級性擁護運動の第一歩としての具體的な表現であつた。リーフレット「清黨」の清黨運動同盟の名によつて全土にわたつて撒布され、墮落幹部の醜行を白日の前に暴露するや昨日迄平野麻生を信じ日本大衆黨の結成の爲め渾身の努力を續けて來た全黨員の憤怒はその極に達した。

かゝる狀勢に周章狼狽したものは、本部に巣喰ふ墮落幹部の一團であつた。彼等は極力事實を否認すると同時に、清黨運動同盟は黨の攪亂者、事實無根の流言をもつて黨の分裂を企てる者として除名すべしと主張するに至つた。彼等は清黨運動は黨の機關を無視したものだと云ふ。成る程、黨には色々な機關があり、就中統制委員會の如き機關がある。彼等は黨の問題はこうした機關にかけるが正當だと云ふ。そしてリーフレット「清黨」は黨の機關を無視したものだと云ふ。

しかした。われわれが「清黨」を發行する以前において一度たつて黨の機關に向つて、公式に又非公式にも何等の方法を講じなかつたならば、それは正しく黨の機關を無視したものとの汚名をも甘よう。が、リーフレット清黨發行以前において左の如き方法を講じ、この問題の解決方を促した事一再ならず。

一 一月十九日、日本大衆黨本部に福田狂二加藤利藏の二人が往訪し 三輪、河野、鈴木（茂）田所の四名と會見し、平野、麻生に關する醜事實を示して責任の所在を難詰したところ、如上の四君は一月廿一日黨本部において開かるゝべき常任中央執行委員會に提出して、解決の道を取るべき旨回答された。然るに、一月廿一日の常任中央執行委員會には、この問題は提出されなかつた。この事は、二月十一日の中央常任委員會において、古市常任が一月廿一日の夜、三輪、河野、鈴木（茂）の三君は何んの意見を代表して進め社二階において清黨運動同盟の諸君と面會したかと質問したに對して、三輪河野の兩君は個人として行つたので常任中央執行委員會を代表して行つたのでは無いと明言してゐるのに徴して明かである。問題にすべきものを問題にせず・デマゴーギの進發に之努めた河野君の態度こそ、黨攪亂の典型的表現であらねばならぬ。

二 一月廿二日には、次の如き文書を日本大衆黨常任中央委員會に提出してゐる。これも河野が握りつぶしてゐたのである。

拜啓 常任執行委員麻生久氏の裏切事件に就き執行委員會において調査されん事を希望致候
麻生久氏の裏切事件は古川事件高島事件、田中義一事件小生の方で的確なる材料を握り居り候
統制委員會へ直ちに開かれ査問會二月三日に決定されたく要求致候

漫畫 ダラ幹退治

本日の委員會にかけて午後五時迄其の回答被下度願上候
十九日三輪壽莊氏、鈴木茂三郎氏、田所輝明氏、河野密氏迄此の請求が爲せるも改めて申告致候
敬具

一月二十一日　黨員　福田狂二

日本大衆黨
常任執行委員會御中

三 一月十七日、神田元岩井町日本大衆黨の相談役松谷與二郎氏宅に福田狂二氏が赴きこの問題に就いて相談し、

「麻生君をこゝへ呼んで吳れ、私から自決を迫る」と云つたら、松谷氏は「それは出來ません、發表して下さい」と云つた。

四 一月七八日頃から數回三輪壽莊氏にこの問題に就いて電話がかけてある。もし、三輪君が眞面目に考へてゐたら、問題を即時黨の手に移し解決の手段を講ずべきであつた。

五 其の他何月何日にこうしたこうしたとはつきりした事は云へないが清黨運動同盟の組織準備時代の事故、必ずや黨幹部諸君や直接黨の機關に向つて非公式にでも問題を提出してゐた事を確信する

以上の如くわれわれはあらゆる手段を講じてゐるのだ。その方法が公式であれ、非公式であれ、黨の機關であれ、幹部個人に對してゞあれ、かゝる重大なる問題が提出されてある以上・放任しておけば必ずや大問題となるであろう事は常識として分り切つた事である。階級的問題を問題とせず、反つて事件を放任し、反つて臭い物に蓋をする樣にしてデマゴーギで胡麻かそうとした連中こそ、黨攪亂の罪を負ふべきではないか。われわれは、彼等が問題を胡麻かし

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

デマゴーギを飛ばしてダラク幹部の醜行を默認し、日本大衆黨の反動化を放任しようとする態度に、黨の機關を通じてやるなど云ふ事をなしてゐたら、それこそ百年河清を待つに等しい事だと悟つた。殊に第五十六議會が終れはダラク幹部は政友會から金を擲る事になつてゐる。そうなれば、日本大衆黨は不淨金によつて飼られて了ふ。默つてゐてたまるものか。殊に黨の機關はダラ幹の一味によつて握られてゐる。ブルヂョア議會が無產階級の要求を取上ないと同じ事だ。問題を白日の下に曝露しろ。全大衆の批判に訴へろ、階級的熱意によつてこの問題を取上げさせて日本大衆黨の階級性を擁護しろ。われわれはかくして遂にリーフレット「清黨」を發行したのだ。「問題がある。そうか」と云つて出したものぢやない。如上の樣な隱忍自重の結果である。もし、われわれがこのリーフレットを出さないで、黨のダラ幹一味によつて握られた機關を信用してゐたら、日本大衆黨の反動化への危機を救ふ事は出來なかつたのだ。この點において、リーフレット「清黨」は絕對的に正當だつた。これは、日本大衆黨の階級的黨員の等しく認めるところである。

リーフレット 清黨の内容

以下記載せるは問題の「清黨」の内容である。

清黨運動の根據を明かにし日本大衆黨員諸君に檄す

福田狂二

暮夜ひそかに田中首相邸を訪れ賤惡なる金錢の授受によつて節を賣るもの一人民政黨其の他の既成政黨の末輩代議士のみと云ふ勿れ、支配階級の比類なき羈壓下に呻吟せる全無產階級をひきいて起つ無產政黨の、況んや無產黨中最大の規模と實力を有する日本大衆黨の最高幹部にして既成政黨の代議士數と何等變らざる行動あるは正に一大奇怪事と稱すべく、吾々無產階級の深き警戒と斷乎たる決意を要する所也

民政黨政府家の變節たゞや、同一支配階級内部の問題にして、かゝる擧動あるは當然中の當然なるべく吾等の關せざる所也然らば問ふ。無產政黨は？

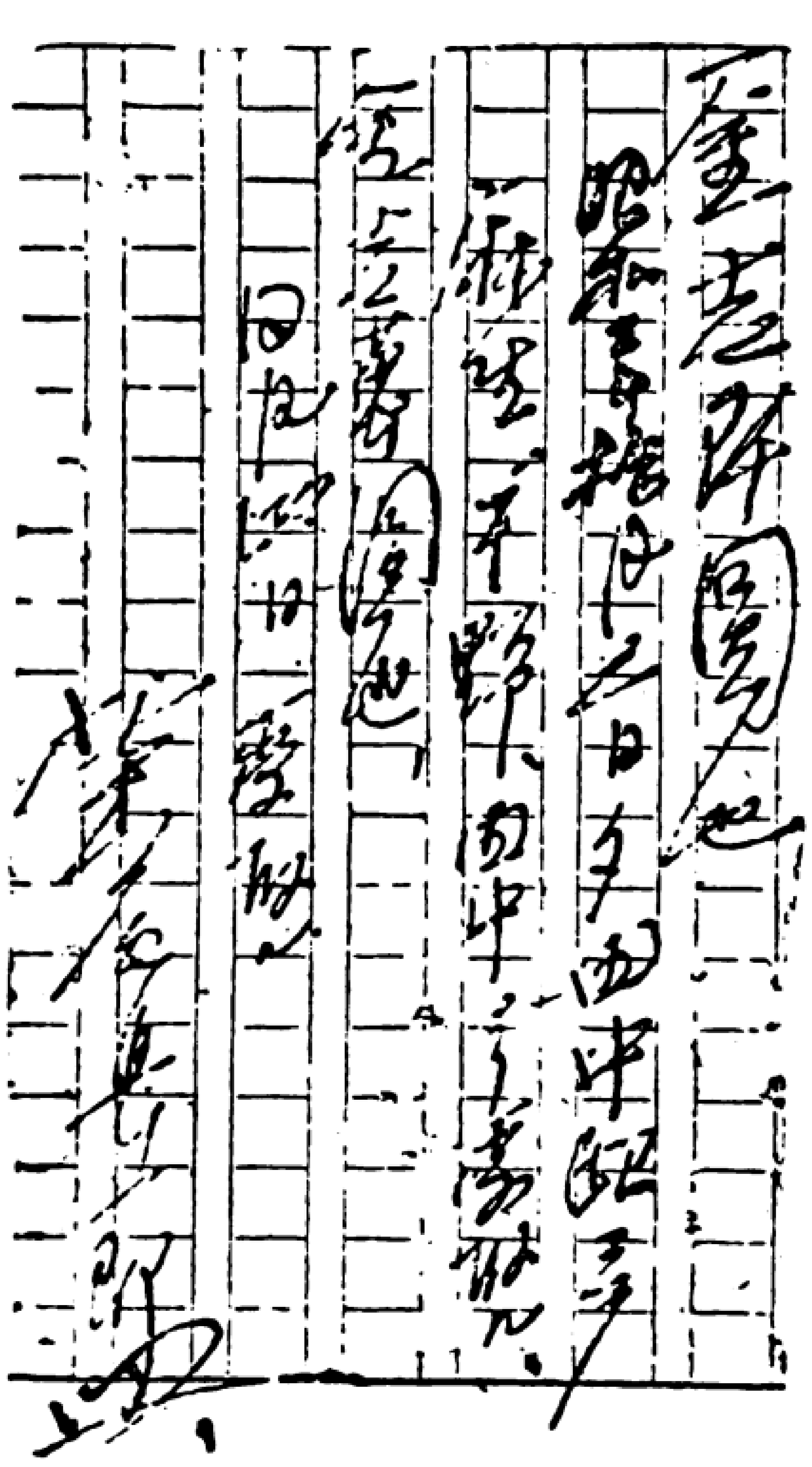
そもそも、無產政黨は無產階級以外の何者の利害をも代表するものにあらず。支配階級とは眞に永久相容れざる也。即ち、日本大衆黨幹部某々が、暮夜人にかくれて總理大將田中義一を訪問し、第五十六議會に於ける政府合流云々の口實の下に醜惡極まる金錢を收受し卓を圍みて快談するは、無產階級の歷史的使命を忘却したる卑劣漢と斷定して敢て憚らざる所也。

問題は小事に非ず。輕事に非ず。況んや一箇の笑說に非ず。血涙の歷史を蹂躙し、支配階級をして手馴づけ易き頑弄物よと賞讚せしめ無產階級解放の信念を放棄せよと叫ぶ實に無產階級の恐怖おく能はざる所にして、無產政黨の成立以來未曾有の一大事件と云はざるべからず。同時に、吾等無產階級にとつて階級的協力の強弱を天下に公示し、以て墮落幹部を暴露せしめる時期に當面せる也

然らば、その收受せる金錢の使途に就きて穿さくするならば、一味飢類相寄りて待合に與なく藝者を擁して遊蕩兒の如く呑み唄ひ費消せるに至つては、無產階級よ、沈默して彼等の指導下に盲從するを寧ろ恥辱也と思惟せざるか。然りか、否か

日本大衆黨員諸君。今や清黨運動の旗を高く揭ぐる時也、日本大衆黨の階級性を擁護するの時也。墮落幹部の自決を促すべく敢然として蹶起すべき時也。今にして立たづんば無產運動の前途や、暗澹低迷して行くべき道を失ふのみ。

吾人は以下調査せる事實を列記し、以て天下の全黨員諸君に檄を飛ばさんとする所以のものは、吾人の物好なる性格の故に非ず、一日の放任をも恐れたるに由也、同志全國に渡り萬を算するの時人に進んで一本のマッチの役を果さんとする者は、吾人を措いて他に非ざるを悟りし也。



同時に此の聲明書は、吾人としては又重大なる釋明を意味するものにして、即ち、彼等墮落幹部は徒らに吾人の名を惡用し、彼等墮落幹部の爲せる一切の反階級的行爲は盡く福田狂二の爲せるもの如く逆宣傳し大衆との離間策を講ぜんとしつゝあるに對する防衛也幸の湖事件反動化事件、日勞黨大會事件等々問題は一二に止まらず自己を守らんとすれば他を斷らざるべからず。吾人何を好んで多年の同志を賣らんや。

事實の（一）

イ　昭和三年十月三日、舊日本農民黨書記長平野力三及び舊日本勞農黨書記長麻生久相たづさへて田中首相邸に總理大臣陸軍大將田中義一を訪問し、無產政黨の合同によつて護憲民政黨代議士、水谷山本新黨準備會所屬代議士、龜井社會民衆黨代議士、並びに河上日勞黨代議士をして第五十六議會において對支問題、張作霖問題、地租委讓問題に就いて政府に合流さすべき約束の下に金一千圓を受取り翌十月四日平野力三は田中義一より金一萬圓を受取り、尚、彼等は議會後約束を履行したる場合にあつては相當の金額の授受を約束したり

註(一)　かゝる平野、麻生の陰謀あつてこそ、日本農民黨對日本勞農黨の合同の急轉直下式に遂行せられたり。立黨以來極右翼の立場にありし日本農民黨が左翼なる無產大衆黨の合同を要望せるは、無產大衆黨をふくめての合同成立すれは新黨準備會所屬代議士山本、水谷の兩代議士を獲得し得るの見込、又龜井代議士も社民黨を脫し合同黨の傘下に來たるとの豫想を持ちたる爲也。

註(二)　政府に合流する事は、政府案に贊成するの意味に非ず。いやしくも無產政黨たる以上表面的合流は爲さるべきものにあらず。然し政府より金錢を得たる上は野黨の立場にも贊成せずの言も合流の一也。無產黨は獨自の立場にて邁進すとの言も立派なる合流也。

ロ　平野麻生の受取りし金錢は、麴町區三番町十番地[illegible]鈴木えつ方においてその他赤坂の待合にて數十回麻生久、柴尾與一郎、平野力三等その一味の藝妓をあげて豪遊せる事實明かなり。この事實

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

は十二月二十八日午後九時參拾分一味の一人柴尾與一郎が進め社本部にて吾人が訪問し、分け前に就きて不滿を感じゐると彌々寫眞版の如き一證を認めたり。

事實の（二）

昭和三年九月上旬、幸の湖（栃木縣中禪寺湖）に古河鑛業會社が發電所を設置せんとするや麻生久等は反對運動を組織せり幸の湖とは明治天皇の命名せられし中禪寺湖の別名也。反對理由の中には發電所を作るは不敬也との理由も見られたり。然るに九月二十日銀座尾張町丸見屋食堂二階において麻生久、河野密、田所輝明の三名が余を招じて、幸の湖事件を古河鑛業株式會社に五萬圓にて賣込み呉れと懇願せり。吾人は事重大事件なれば考慮の上回答すべき事を約したり。然るに、十月二日麻生久は古河鑛業所長佐々木敏綱に面會しその後約二回に渡つて佐々木が訪問するに至つて同社社員の間に麻生は古河より買收さるゝに至つたと噂さるゝに至れり。よつて、吾人は知人をして古河の受附を調査せしめたるところ十月二日は午前十時頃であつた事判明せり、果して麻生久は幸の湖問題を中止せり古河は麻生の最惡の敵にあらざりしか。

事實の（三）

九月下旬、反動主義者高畠素之の宅に麻生久が訪れ、日本勞農黨と建國會を近き將來合同せしむる旨吳言し、建國會の綱領を認むるとの條件にて金三千圓都台して呉れと懇願せる折柄、たまく隣室に吉川守邦氏訪るありて一切は曝露せり。これ所謂、無產政黨史を汚辱する反動化事件の表現也。

この狂態、かの醜行、無產黨幹部にあるまじき行爲が、眞執なる黨員の中に漸く洩れ初めんとするや、彼等は古河問題も反動化問題も吾人が煽動し爲せるものゝ如く逆宣傳を逞ましうし、黨内における一切の惡行非行の責任者なるが如き詭辯を弄するに至れり。又對田中義一との取引事件、一般に喧傳されんとするや支配階級は合同を喜ぶ筈がない、支配階級が金をバラ撒くならば、合同反對の爲めに爲すべきである。吾人が萬難を排して合同を決行したる事實をもつてしてもかゝる宣傳は爲めにせんとする一派の逆宣傳也と逆襲するに至れり。

然し乍ら、醜行も美しき口實を以て蔽はゞ便宜を有す、されば、吾等は事實を以て僞瞞の衣を破らんのみ。何ぞ諜々の言を要さんや。

吾人は日本大衆黨を結成せしめた無產階級の熱意が思ふならば、速かにこの合同を喰物にし政府との取引の具に供せんとする墮落幹部の辭職を勸告し、以て黨の階級性を擁護し合同の完成を企てざるべからず。

麻生、平野に昔日の俤あらば、速かに責任を感じて幹部の職を辭し、清純分子をしてH本大衆黨の指導を行はしめよ。

日本大衆黨黨員諸君

清黨運動は無產階級の歷史的使命也。

即時墮落幹部糺彈運動を開始せよ。

「清黨」に狼狽した裏切幹部は何を爲したか

かく大衆的規模の上に問題が提出された以上流石のダラ幹とその一味も、即ち今迄有耶無耶に終らせやうとしてゐた連中も、大衆の手前形式だけでも統制委員會や中央執行委員會で正式に問題化せねばならなくなつた。しかし、彼等は問題を胡魔化す爲めには大衆の目から逃れてこつそりやる事が必要だ。公開を禁止し、甚たしきは平野の如く暴力團を雇つて大衆黨本部を俳徊せしめ、或ひは、官憲と結託して、はるはる地方から上つて來た黨員さへ追拂つて了つたのだ。しかし、大衆は何より階級的である。大衆は委員會におし寄せ公開せよと要求し「公開せよ」のビラ、聲明書、電報、檄は日本大衆黨の本部に山積した。ダラ幹一味は眞青になつて大衆の力に恐れおのゝいた。彼等は大衆の目から離れてゐると蛇の樣に陰險惡辣の陰謀をめぐらす。以下、彼等ダラ幹の取つた行動を曝露する。

一、裏切幹部の機關紙强奪

以下掲載するのは、二月九日の進め號外に記載したものである。

我等の清黨運動によつて麻生、平野等の裏切行爲が曝露し、大衆の憤怒漸く高まらんとするや、彼等は死物狂ひとなつて逆襲する。彼等は分裂主義の本性を表して、清純分子の黨放逐を企てる。

日本大衆黨員諸君、彼等の陰謀を粉砕せよ。

見よ日本大衆新聞第二號には黨中央常任執行委員會の意志を蹂躙して、機關紙部に巢喰ふその一味は、最惡のデマゴーギを飛ばし、見當違ひの反證をあげ福田狂二氏の除名を聲高らかに宣傳してゐる。彼等は各地より來りたる除名反對の電報を握りつぶし、他日の取引の爲めに、たにの如くへばり附かうとしてゐるのだ。

この黨の意志を無視せる機關紙編輯の責任者こそ、憎むべき攪亂者であり、分裂主義の權化であるのだ。

この機關紙の裏切幹部による强奪を怒つた鈴木茂三郎氏、及び大道憲二氏等が郵便局に馳せつけ差押さへんとしたが、その時はすでに發送された後であり、編輯責任者は姿をくらました。

日本大衆新聞第二號は日本大衆黨の機關紙では無く、ダラ幹の機關紙だ。地方の黨員は早くも之を看破して一枚だつて配布しない。配布した者はダラ幹一味か、或ひは事件の眞相に無關係な人だけだつたのである。

二、誠意なき統制委員

左に掲げるは、清黨運動同盟の發したビラである。

不徹底なる統制委員を糺彈せよ

（大衆的壓力をもつて委員會に迫れ）わが清黨運動準備會は、九日再會さるゝべき日本大衆黨統制委員會に對して甚大なる敬意を表し其の嚴重なる調査の徹底を期待するものである。

然るに統制委員會の委員諸君にして各自內調査を分擔せられたるにかゝはらず、「清黨」記載の事項「事實の三」の×旗事件の調査を分擔せられたる大道憲二氏、波多野俊夫氏以外の、即ち田中事件、幸の湖事件を分擔せられし統制委員諸君は、問題を輕視してか、問題の提出者なるわが清黨運動同盟準備會本部を訪れ、何等の質問調査を爲されざるは甚た遺憾とするものである。

いやしくも、統制委員會は統制委員の遊び會合ではあり得ない。事、日本大衆黨の浮沈に關する問題である。階級性を擁護するか、階級性を拋棄するかの問題である。

我等は疑はざるを得ない、即ち舊日勞黨系、舊農民黨系の統制委員諸氏はひたすら反證のみをあげんとするか、或ひは事件を有耶無耶に終らさんと企圖されつゝあるやに見える。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

わが清黨運動同盟準備會を無視して、統制委員會開催の義務はない。問題の提出者に何等質問的調査をなさざる統制委員によつて何の階級的委員會が開かるゝものぞ

日本大衆黨員諸君

諸君の力をもつてせずは、階級的統制委員會は開かれない。
統制委員を監視せよ。
統制委員會を公開せよ。
大衆の壓力をもつて日本大衆黨の階級性を擁護せよ
ダラク幹部を糺彈せよ。
田中反動内閣を打倒せよ。

清黨運動同盟準備會

この統制委員會の態度に就いては、勞農新聞第八號も正當に論じてゐる。曰く

「平野も稲田も同時に呼出して大衆の面前で調べるのが當り前だ」さ。然るに、平野麻生一派は稲田狂二氏を呼出す事に極力反對した。もし彼等の云ふ如く事實無根の事であれば、何故稲田を恐れるのだ。又二十三日の執行委員會で淺原代議士の陳述書を讀ませなかつたのだ。勞農新聞で「平野がモミ消せはモミ消すだけいよく深まる疑惑」さ云つてゐるが、全く其の通りだ。臭い物に蓋をしておいて事實無根ださ云つても大衆はいやさ云ふ程臭いものをかいで了つたのだ。

三、被告が裁判官

清黨運動が問題にされた常任執行委員會や中央執行委員會において、疑惑の中心人物、ダ附のダラ幹平野が議長になつて、ダラ幹一味の發言は許しても、正義派の發言は許さないさは、ブルヂョア議會でも三舍を避る事ではないか。彼等を裁判官に持上げて、原告の出席を拒否して何で事實の糺明だ。平野一派の不利な發言は少しも取上げない。少しでも有利なものは、捏造したものであらうさ無からうさ拍手して讀み上げる。わが黨代議士の淺原の發言は取上げないで、曖昧な黨だと自ら云つておき乍らその柴尾の發言を神聖不可侵なものゝ如く讀み上て事實無根だと云ふ。昨日迄はアテにならぬ奴だと云つておいて、今日は一寸自分等に有利な事を云つたから、それで眞面目なんだと云つてゐるのは、全くふざけた話である。前代未聞の猿芝居だ。こんな事で事實無根だと云つて了ふなら、世の中に罪人は一人だつてゐない。

四、暴力團を雇つた平野。

五、公開を禁止したダラ幹。

何で階級的大衆黨の幹部だ。かゝる奴等を大衆の力で粉碎しろ。

彼等の所謂「事實無根」の正體

二月十三日の中央執行委員會は所謂「臭い物に蓋をした」その定評ある決議を發表した。それに曰く、

一、リーフレット「清黨」並びに「進め」號外に記載せられたる事實は、常任中央執行委員會及び統制委員會の嚴重なる調査の結果事實無根なること明かなり」「中央執行委員會は黨の常任執行部を信任す、但し黨爭を更に活發に展開すべし」と。

古市、鈴木、黒田の各常任、及大道統制委員長の辭任退席した後で、ダラ幹の一味でコネ上げた決議はザットこんなものだ。淺原代議士も、「こんな黨の統制を受ける事は眞平御免だ」と聲明した後で、事實無根ださ、黨の常任執行部を信認すさはよくも白々しくも云へたものだ。

われわれは更に彼等の所謂「事實無根」の正體を暴露しなければならぬ。蓋の下には臭いものが澤山ゐる。

今でも×旗をかつぐ事を眞面目に考へてゐると云ふ麻生君

麻生久は統制委員大道氏に向つて左の如く陳述した。麻生宅にて二月八日の事である。

麻生「×旗をかつぐ事は今でも眞面目に考へてゐる」

大道「高島君との關係は」

麻生「昔からの知己であるが、敵國會と合同するなさとは謀言である」

大道「高島に金を依頼した事はないか」

麻生「印税を寄附して呉れと頼んだ事はある」

清黨運動ゴシツプ

×

日本大衆黨中央執行委員會において、黒田、鈴木諸氏の辭職を認めるか否かゞ議題となつた時。三宅君曰つて

「悲しむべき事ではあるが、喜んで御受け致します」

やがて、三宅君は代議士になつて、帝國主義戰爭に當面した場合

「悲しむべき事ではあるが、喜んで御受け致します」

とでもやつてのけねばよいがね。

×

日本大衆新聞第三號は「統制委員會の徹底的究明により怪文書事件解決す、中央執行委員會は事實無根を宣言す」とある。デマも休み休み云ふがよい、泥棒の家では泥棒を隠すさ同意義さ。ブルヂョアがブルヂョアを擁護するさ同意義さ。水入らずの會合では好き放題の事が云へるさ云ふもの

×

田所君！×旗を旗を！

大道「或る人の話によれば、あなたが五千圓頼んで、高島が三千圓だけ都合してゐたが、あなたは取りに行かなかつたさうですが。そしてその金は宇垣から出てゐるさの事ですが」

麻生「全然知らぬ。宇垣も知らぬ。高島から金を貰つたことも無い」

二、吉川守邦氏の陳述

二月五日、吉川氏宅にて大道委員長調査、

吉川「十一月の初め、高島君の病氣見舞ひに行つて、二階で話してゐるさ、細君が「やまさ」新聞の記者松下の名刺をもつて來た。色々な話の末「麻生が金借りに來たぜ」さ高島が云つた「いくらか」さ尋ねるさ「五千圓だが、三千圓だけ貸すつもりだ」私は重ねて「何故貸すのか」さ云ふさ「麻生はこう云つてゐる。主義主張なんて今では古いよ、その日その日を維持して行く事が問題だ、さ、全く反動涵驗以上になつたね。麻生は僕の家へ來る以前に有馬頼寧の所へも行つたらしい。君（吉川氏の事）は日勞黨員だね、あんなやつ下らないから止し給へ」さ云つた。その日はそれで別れたが、その三千圓が宇垣から出た事を最近知つた。それは高島が死んで細君が財産問題で來訪した時、私が「麻生に貸はないか」さ訊くさ細君は云つた。「麻生さんは相談して來るさ云つて歸つたまゝ受取りに來ませんでした。その金は其儘になつてゐたので宇垣さんから三千圓返し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て呉れと云つて來てゐます」云々（即ち麻生から依頼されて高島は宇垣一成から三千圓を借て來たが、麻生が何故か受取りに行かなかつたので、そのまゝ何處かへ費かつて了つて高島が死んだので宇垣から返金を迫られた譯である）

三、猪俣氏の陳述

十月二十日か二十一日頃、橋浦君と二人で田所君を訪れた。この時田所が

「麻生が日勞黨を國粹主義の綱領で固めようとしてゐる。そしてこの綱領が日勞黨の昭和三年度大會を通過すれば數十萬圓の金が供給されると稱して日勞黨の同志を說きつゝある」と云つて綱領草案を示した。この事は淺沼稻次郎君荘原君からも聞いた、更に田所君は私と面會した前日山川均氏を訪ねて同樣な事を話してゐる」云々

四、鈴木茂三郎氏の陳述

一月廿一日頃だつたと思ふ。濟黨運動同盟の吉田、神庭の兩名が鈴木茂三郎氏と會見した時、鈴木氏曰く

「私の方の北豐島支部（たしかそうだつたと思ふ）へ去年の十一月頃かと思ふ。建國會が來て「お前達は大きな事を云ふな俺達は今に日勞黨と合同するぞ」と云つたので、私の方の黨員は「そんな馬鹿な事があるか」と云つて喧嘩した。兎に角日勞黨の×旗問題は有名なものです。」云々と。

以上の調査によつて、左の如き結論は明かである。

一、ファシズム黨の建設には麻生は今でも眞面目に考へてゐる。

二、その爲め綱領を作つた。

三、それが大會が通過すれば數十萬圓出來るとの事

四、高島に三千圓を依頼した事、（即ち、高島に金を依頼した事は一の問題と結びついてゐる事は明かである）

五、高島が宇垣一成から三千圓を作つて麻生に貸そうとした事

六、以上の諸點を綜合して考へる時、建國會との合同を高島との貸借の條件とした事は明瞭となる

七、麻生は二月十二日の聲明書において常識でも考へ得られない事ではないかと打消そうとしてゐるが、常識でうなづける樣な事をしてゐたら問題にならないのた。麻生自身も前述の如く無産黨の幹部として常識論でも考へ得られない「ファシズム黨」の事を考へてゐると云つてゐるのではないか。こんな事だから問題となつたのた。

古河事件

「あれは冗談だつたのですよ福田さん」

この問題も事實無根の流言だと云ふ。福田、麻生、田所、河野の四名が銀座の丸見屋で會つたのは田所、河野對福田との感情融和の爲めたと云ふ。全く取るに足らぬ逃げ口上だ。以下掲げるのは一月廿一日の鈴木、河野、三輪、福田吉田、加藤との六人會議の記錄である。問題のある所を注目あれ（へくわしくは號外を見られよ）

一月廿一日の會見顚末

鈴木氏「本日の會議は重要な會議故に記錄を取ることにし度い」

河野、三輪兩氏極力これを拒否する

三輪「黨の合同問題に關しては幾多の噂を聞いてゐる、自分も不快に絶へない、麻生、平野君の裏切行爲が確實に分つて居れはそれを知らして貰ひ度い、平野書記長の如きは前科者でいたし方がない、詳しい事を承はつて何とか穩びんに濟ませ度いと思ふ」

福田「詳しい事は事件の機密に屬する事なのだから今此處で申上げる事は出來ないが貴下にも大體に於て數回話したことである、田中首相訪問、高島訪問、幸の湖事件の三つである、私共は十二月二十三日以來凡ゆる苦心をして調査したから疑ふ餘地はない。執行委員會は、黨の行政機關であつて統制委員、如き査問する機關ではないから此の問題を黨執行部で取り扱ふのは怪しからん。速かに統制委員會に附議す可きである」

三輪「で、あるが、モウ少し伺ひ度い」

福田「それでは大體のことについて言はう」

聲明書濟黨に記載されてゐることを話した、

福田「麻生、平野は合同大會に金を出しましたか」

三輪「麻生君よりは少しも貰ひません」

河野これに和し

「絶對に合同大會費用などは貰ひません」

福田「田中より受取つた金は待合の遊興費になつたはかりだね」

福田「河野氏に一言申上げるが貴下は九月二十日丸見屋といふ大阪料理屋で麻生君が私に幸の湖事件を五萬圓で賣つて呉れと云つたことを御承知でせう、亦貴下と田所君も共に私に頼んだではないか」

非常に困惑して顏を眞赤にして

河野「あれは冗談だつたのですよ福田さん」

吉田「冗談なものが十月二日以後古河へ行くと云ふことがありますか」

三輪「古河の佐々木重役は面白い人だから敵である麻生君にも惚れて居つて多少の援助をしたことであらう、それは別に幸の湖料彈事件を賣つたのでは無いと思ひます」

吉田「それならナゼ幸の湖料彈演說會を止めたんですか　古河に降參したことは既に古河に行くと云ふことではありませんか」

三輪「どうも麻生君が買收されたとは思われません」

福田「それなら此事實を私は十一月日勞黨中央委員平野學君と共に古河の受付を調べた所が麻生さんはお出でになつたと云つた平野君は顏色を變へた、平野君は麻生君の直系である、平野君に聞いてみれはわかる」

河野「幹部がそう云ふ事實があつても、今辭職させると云ふ事は忍びない」

吉田「無産政黨は階級意識と理論の上に立つてゐる、情實で結合して居る反動團體とは違ふ、貴下からそんな言葉を聞くと云ふことを無産階級の爲に悲しむ」

河野「貴下方の要求はどうすれは好いのか」

福田「裏切幹部が全部責任を負つて總辭職されん事を希望して居る」

河野、三輪、鈴木「それでは執行委員が待つてゐるから之から歸へります、そして最善の手段を取ります、そしてなるべく早く二日間に御返事申上ます」

福田「どうか此事は黨を愛して解決を早くして戴き度い」

河野「私も黨を愛して此解決を早くいたしませう」

この記錄は、隣室にあつて「進め」の編輯を爲しつゝあつた神庭君が、事重大問題として書取りしものである。河野が顏を赤めた云

々の事は、加藤・吉田君より河野以下三君が歸つてから注意されてつけ加へた文字である。

田中事件

かくそうとしても出るシッポ

第五回常任中央執行委員會（一月二十七日）に平野力三は淺原代議士の質問に對して次の如く述べてゐる。

平野「柴尾は知り合ひであり、田中義一とは二年前に會つた事がある。待合淺屋は、合同の際無産大衆黨を入れる入れない問題が紛糾したので、麻生、山名、棚橋、三宅君等と一緒に行つた事がある」

問「柴尾に淺屋で會つたか」

平野「合同問題に關係なく會つた事がある」

問「無産黨の會合に待合は餘りよくはあるまい」

平野「それはそうた。待合政治をやつたのは唯一回である」

問「淺屋で麻生、柴尾に會つた事があるか」

平野「たまたま落ち合つたことはある。」

問「清黨ビラの云ふ如く一萬一千圓を受取りし事ありや、」

平野「絶對事實無根の事である。」

問「此の流言は單に福田のビラに依るのみでなく民政黨內、新聞記者間にすら喧傳され平野君等に就いては色々な風評を聞いてゐる」

第六回中央常任委員會においては、麻生君が黒田壽男君に質問されて次の如く述べてゐる。

黒田「柴尾、平野、麻生氏三人で淺屋で會合した事ありや」

麻生「合同問題に關してゞなく會合した」

大道統制委員に對する麻生氏の陳述（二月八日麻生氏宅）

問「柴尾を知つてゐるか」

麻生「知つてゐる。しかし、彼は合同問題に關係してゐないと思ふ」

問「黒田信一を知つてゐるか」

麻生「柴尾が一度連れて私の家へ來た。が、合同問題ではない」

問「淺屋へ行つた事ありや、又、行つておれば連は誰誰ですか」

麻生「行つた事がある。連は平野君の外覺えてゐない」

問「一回だけか」

麻生「組合同盟が非常に揉めたので、その淺屋で柴尾、黒田、平野と會つた事がある。行つたのは二回位のものである」

大道黨二氏調査の內容

大道統制委員長の最も信頼する知人の某新聞記者から得た確證として、淺屋の女將の證言を提出してゐる。

「平野の事を「ヒーサン」麻生の事を「アーサン」と云つてゐる（それ程彼等は淺屋に出入してゐる）」

以上の諸點を綜合して見る時

一、平野麻生は柴尾等と共に待合に出入し、所謂待合政治をやつてゐた事

二、平野、麻生の陳述が矛盾に滿ちてゐる事。

三、彼等は否認してゐるけれども柴尾・合同問題に就いて連坐してゐる事明かである（何故なら、麻生の陳述にある組合同盟の紛擾があつたとて、平野、柴尾、黒田信一等が協議する必要はない。が、組合同盟が揉めたのは合同問題であつたから、合同によつて一儲けをしようとした平野、柴尾等が本來ならば何等の關係ない組合同盟の方へ手を出したのも無理ではない）等の結論が生れてくる。私は今少し、柴尾が合同問題に關係してゐた材料を擧げよう。

柴尾と合同問題の關係に就いて

一、十二月十二日の夜七時、大阪進め社福田狂二宛に柴尾より依賴電報が來た。

「高野博士委員長反對運動を賴む柴尾」

打電はお茶の水である。これは

清黨運動ゴシップ

×

左翼、日和見、反動相入亂れて策士飛ぶ。中に快刀亂麻を斷つの慨あるは誰ぞ、清黨運動同盟即ち之

×

黒田、鈴木常任を辭す、ヒーサン、アーサン、安心して可也

×

「民衆の旗白旗をさゝげて進むを歌ふ」歌聲ビルヂングの上よりきこゆ。ヘテナ、こゝは總同盟本部たつか。違ひます、日本大衆黨本部たつせ

×

日本大衆黨ダラ幹の護衛兵曰く「分裂的策動を撃滅せよ！鬪爭を通じて（ファシズム黨）主體の完成へ！」

ヨウヨウ和製ムッソリニー

×

前田河廣一郎君この「ムッソリニー」を書いては如何

×

「マルクス主義」飛ぶ樣に賣れる理由を訊けば舊日勞黨の幹部諸公が舊無産大衆黨に對抗する爲めの勉強と云ふ。マルクスも地下で泣きますよ。又君等の理論家河野田所君が泣きますよ。

昨夜來合せた淺沼稻次郎君、平野學君の二人が見てゐる。この電報は今再交附を賴つてゐる。後で柴尾に會つたら、「平野と麻生と相談して打つたのだ」と云つてゐた。その理由は高野博士が出ると平野力三の專制が出來ないからただその事である。黨首はない方がよいとの理由である。

二、柴尾は自己の乾分の一人黒田信一を淺原健三氏の代理の如く稱してこの會合に列席せしめた。この黒田なるものは、淺原氏とは一面識もない男であるにかゝはらず柴尾がこの男を淺原氏の代表と稱してはい廻せしめたのは何故か。彼等は柴尾は合同問題に何等の關係なしと云つてゐるが、中央常任委員會の席上において、平野が柴尾が同じ待合へ行つたのは、偶然出會つたのだと云つてゐる。然るに柴尾は合同問題の爲め奔走してゐた事はかくれなき事實である。

×

以上によつて清黨リーフレット中「事實の一」の賣黨事件は肯定される。

イ、一月十六日、柴尾は門司より上京して麻生を訪問して、補缺選擧をやつてゐるから千圓貸して呉れと云つた。ところが麻生は「一文も無い」と斷つたら、「一萬圓の金が今から無くなる譯はない」と憤慨してゐた事。

ロ、待合淺屋において麻生、平野柴尾等が合同問題に關して會合し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

た事を突留て、柴尾に訊いた時、柴尾は驚いて、「どうして分つたのですか！」と云つた。そして、「麻生等に金を握らせると待合へ行きたがつて仕方がない」と冷笑してゐた事。

へ。第五十六議會において政友會系と見られた反動團體が、「打倒田中內閣」を叫んでゐたのは、田中が無產黨に金をやつたからである。田中は「思想善導の爲めに出したのだ」と云つたので、反動團體は「俺達には出さないで、無產黨に思想善導だと云つて金をやるとは怪しからん」と憤慨したためである。

ニ柴尾は田中內閣の秘密を暴露する者として政友會の壯士に追廻された事實、

ホ大道統制委員長と淺原氏との會話の中に左の如き一節がある。

問「あなたは清黨ビラに記載された様な事で平野麻生君から、何かの交渉を受けた事がありますか」

淺原「ありません」

問「少しもありませんか」

淺原「ない、たが、そんな事ではないかと思はれる様なことがないでもありません」

問「それは、どういふ事ですか」

淺原「それは言明できません公の會合で、どうしても言明せねば止むを得ない場合の外は言明できません」

へ、この淺原氏に黨の正式の機關において發表して貰ふ事になり、二月十三日の中央執行委員會において陳述書として朗讀せんとするや、朗讀を平野一派によつて否決されたので遂に讀まれないで了つた。

第五回の中央常任委員會の折柄

原氏對平野の質問應答は、嚴秘にされてゐたが、この時の質問應答が前記陳述書の內容の一部であると思はれる。卽ち、淺原氏は次の如く質問したとの事である。

「平野君は金錢取引の事實なしと云ふが四千圓持參して僕の許へ相談に來たのは何故か、その金は何處から出たか」

之に對して平野は赤くなつて首を垂れ一言もなかつたとの事である。

ト、清黨運動捲起るや、平野は門司にある柴尾に「ジキヨクフンキウススグカヘレヒラノ」なる電報を打つてゐる。もし、平野の表面云ふ如く柴尾とは合同問題に就いて何等の關係がなかつたなら、こんな電報も要らぬ譯である。

チ、二月十二日の朝には黨本部において、柴尾の密使黑田信一と平野とスペイが鍵をおろして一時間も密談してゐた事。

事實を認める松谷與二郎氏

彼等は逃げようとしても、すでにシッポを掴られてゐる。賣黨行爲は最早明白である。田所などの云ふ事も場所によつて異つてゐる所では「金を出されたけれども取らなかつた」と云つてゐる。

松谷與次郎氏は二月十一日黨本部會議室において河田事件の仲裁に來た時、こう云はれた。

「私も清黨リーフレットにある記載事項は事實であると思ふ。私は多年辯護士をやつてゐた關係上此れだけの聽取書を見れば事實であるか無いかゞはつきり分る。」

麻生久君の聲明書

麻生は圖々しくも聲明書を出した、事實無根だと主張する。しかした、出したシッポをどうするつもりだ。大衆は斷じて承知しないぞ。君の行く道は×旗をかつぐ事だ。まつしぐらに進め！

麻生君は聲明書に曰く、

「私は未だ嘗て日本大衆黨に對し、對支問題等に就き、政府合流の意見を申出でたる事なし」

とある。たしかにそうだ。正直に意見を述べないところに、大衆を欺いて今日迄幹部の椅子にゐる事の出來た麻生君であつたのだ。

たはいなき反證

前記の統制委員糺彈聲明書の如く、平野・麻生の一派の統制委員は反駁をあげる事のみに努力した。そして、徹夜敢行して捏造したものが、所謂平野の乾分河田とキリスト信者で大衆を神の名で欺す事に馴れてゐる森榮一が柴尾からきいて來た反證である。それは、清黨リーフレットに掲載された柴尾の書いた一證は、福田に強迫されて書いたものだと云ふにある。これが彼等の虎の子である。昨日迄アテにならぬと過してゐた柴尾の言を、神の様に祭りあげて、淺原代議士の陳述書は下らぬものであると朗讀さへ否決しても、得々として十三日の中央執行委員會で朗讀した。

柴尾が昨年十二月十八日、進め社の二階で一證を書いたのは、自分が分け前から不滿をもつてゐたが爲めである。進め社へ來る自動車の中で、福田氏に向つて

「私は實に憤慨に堪えません。あなたがしなくても、私の方で今にきつとはらします」と云つた。

そして福田氏が聞きもしないに、鈴木文治の事など古い事までも話し、證據なら百枚でも千枚でも書くと云つた。もしこれが強迫されて書いたものであるなら、前述の如く一月十六日福田氏を日本社會運動通信社に平氣で訪問する様な事はないであらう。河田と森の調査の中では、柴尾が「私は社會運動を攪亂する様な事は斷じて出來ない」と云つてゐるが〇尾がこんな事を云ふのからして間違つてゐる。社會運動がどうならうと柴尾には關せざる所である。昨日迄蛆虫の様に柴尾を罵つてゐた平野、麻生君等が統一主義の神様の様に柴尾を擁護してゐるところは甚だ御芽出度い事ではないか。

その他の反證はいづれもふき出したくなる様な反證はかりでリーフレット清黨の指摘を覆へす様な所は一つもない。反つて、リーフレット「清黨」の事實をはつきりさせる。策士揃ひの幹部派に策無

きは如何、天は惡に與せざるか。

清黨運動と黨内の對立

清黨運動は日本大衆黨内に、左翼、日和見、反動の三つの對立を生じた。しかし、日和見主義者は結局反動となる。われわれは極めて簡單に對立の分野を明かにするであらう。

清黨派　清黨運動同盟、(島根・高知・舊信州大衆黨、鳥取、大阪別子銅山、全青同盟の左翼をふくむ。その他分散的勢力は略)

舊無産大衆黨、舊民憲黨、日勞黨内の左翼、舊日農黨内の先進分子(表面的に表れてゐないが、地方的に動きかけつゝあり)

賣黨派　日本大衆黨居殘幹部と其れに追隨する反動分子、日和見主義

以上の樣な對立は、十二日の中央執行委員會の古市、鈴木、黒田、大迫、淺原、岡田、三浦、武田の諸君の退席と辭職となり、賣黨派が表面上黨を占領した觀がある。しかした。本部を占領したとて何になる。大衆を得る物は左翼のみだ。今に見ろ大衆が奴等をおひ拂つて了ふであらう。

以下掲載するのは、鈴木黒田兩氏の辭表と、淺原氏の聲明である。

辭表

わが日本大衆黨の合同過程における田中反動政府との醜關問題に關して、黨本部常任執行部より疑惑の中心人物を出したるは常任執行委員としての責任輕からずと信ず。

しかも常任中央執行委員會は、黨員並に一般無産大衆の疑惑に對して、今日に至る迄之れを公正に處斷し得ざりしは遺憾に堪えず。

よつてここに責を負ふて中央執行委員を辭任す

鈴木茂三郎
黒田壽男

聲明

清黨問題及び之に關聯する我黨本部に鑑み、我黨現在の議員統制機關の統制を甘受するは我國無産大衆の政治的要求に背反するが如き嫌ひあるを以て爾後當該機關の統制に服するを潔よしとせず。

淺原健三

福田狂二氏の除名

これも賣黨派の仕業だ。以上の如く正義派幹部の退席後、水入らずの惡黨會議で圓滿に滿場一致で可決されたのだ。除名理由は、事實無根の流説を組織的に流布したるにあるとの事で黨の攪亂者として當然過ぎざる罰であると。

幹部諸君、借問す、賣黨行爲は黨攪亂にあらざるか、上申書を握りつぶしてゐた幹部はどうですか

全士にわたつて、賣黨ダラ幹を葬れ、福田狂二氏除名反對が猛烈に捲おこされてゐる事を知らないか、(全士戰線欄を見よ)福田狂二氏の除名は本文冒頭に記した如く何等理由なきものであり、理由の如何を問はず恥知らずの行爲を爲すダラ幹のみの爲し得る所業である。清黨運動同盟は福田氏除名をダラ幹河野等が主張し初めた時、左の如き聲明書を發してゐる。

反清黨運動傾向に對する聲明

吾が清黨運動同盟準備會は日本大衆黨常任中央執行委員會に於て問題とされつゝある。福田狂二氏除名理由の階級的に肯定し得られざる事を確信し斷乎たる反對を表明するものである。清黨運動が分裂絶對反對、日本大衆黨階級性擁護の爲め、不可避的に捲き起されるべきものであり、清黨運動を單に福田氏一個人の除名を以つて脅威せんとしても大衆は斷んじて問題を有耶無耶に終らせはしない。然かも、福田氏除名の强硬説を有するものが、麻生、平野一派に限られたる事實を見る時皮肉なる笑さへ催さゞるを得ない。

殊に平野君の如きは厚顏にも一日以來の中央常任委員會の議長として他の發言を押へ福田氏の除名のみ怒號せるに至つては、程度を越した驚嘆に値するものである。

福田氏及び吾同盟の爲せし行動がかりに單なる杞憂であり、事實無根のものであるならば、吾等もとより、罪を天下に謝し除名をも甘んじて受くるものであるが、吾等は事實なくして、かゝる運動を起す程非階級的ではない。階級的運動なればこそ敢然として突進するものである、日本大衆黨はよろしく是非曲直を明にして然る後、福田氏の除名か?

平野、麻生の除名かを決すべし事實の如何を明にせずして、清黨運動をよく默せんとする一切の行爲に對して、日本大衆黨階級性擁護の立場から絶對に反對するものである。

一九二九年二月三日

清黨運動同盟準備會

清黨運動ゴシツプ

×

「資本家諸君、大地主諸君、諸君の安住の地こそわが日勞黨である」と。かつて大阪でこんなビラが飛んで問題になつたが、先見の明ある人ではある。

×

日本大衆新聞第三號に曰く

「興民會再起運動も一回の待合會合に止まりしのみにて火氣は失はれて了つた」と。待合淡屋事件結果は如何

×

又曰く

「資本家、官憲の手先『犬岡會』を俺達の手でたゝきのめせ」

平野さん、宇垣さんが怒りますよ。

麻生さん、高畠が化けて出ますよ。

清黨運動同盟の演説會

二月十八日賣黨グラ幹を葬れ、田中内閣打倒のスローガンを掲げて、上野自治館において演説會を開いた。當夜は宣傳の不足と、不安なる天候にもかゝはらず約三千名の大衆を動員した。

辯士としては、清黨運動同盟の神座君の開會の言葉に始まり、日本大衆黨島根支部の宮川君、同大阪支部の蜂鎌君、同王子支部の齋藤君、同信州支部の工藤君、同高知支部の横川君、全青同盟の谷口君、全農鳥取支部の湯原君それぞれ賣黨者の裏切振りを暴露し、最後に清黨運動同盟の吉田君の閉會の辭を以て終つた。

結語

清黨運動同盟は日本大衆黨成立以來、文字通り果敢なる闘爭を戰ひ拔いた。そして、第一段の戰ひを完全なる勝利の中に終えた。即ち日本大衆黨内の黨員の思想的分野を明瞭にした。左翼と日和見と反動との分野をである。そして、日和見主義が結局反動以外の何者でもない事を暴露した。日本大衆黨の現幹部は完全に反動主義者である事を大衆の前に示し、大衆の階級的憤激を促した事こそ、清黨運動同盟の日本社會運動史上に於ける重大なる功績と云はるべきであらう。しかし、清黨運動は今後、如何にして大衆を反動主義者から分離せしめるかの爲めに、あらゆる努力を惜しんではならない。この問題に就いては、いづれ改めて書く事にしてこれは一個の顚末書として止めたい。(終)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

理論闘爭時代と清黨運動時代

吉田源藏

一

嘗て我が國無産階級は、その方向轉換の當初にあつて、福本和夫氏に依つて、「理論闘爭」が全國的に展開せられ、「それ自體の階級」として團結し始めたときに、自己の陣營内に於ける、組合主義者と、折衷主義者と、マルクス主義者とを明確に區別し、全面的な進出を敢行したのであつた。かくて、我が國無産階級はその全面的進出の過程にあつて、少からざる誤謬は犯したが、遂にプロレタアーの×を持つに至つた程に發展し得たのであつた。

しかしながら、我が國無産階級運動のかゝる急速なる發展は、ブルジョアジーの陣列をも極めて急速に強度に硬化せしめずにはおかなかつた。かくて彼等は稀代の惡法治安維持法を改惡して、プロレタリアーの×を彈壓し、×の影響下にある幾多の戰闘的團體を解散した。今や日本ブルジョアジーの正面の敵は日本無産階級の只一ツの×、プロレタリアーの×となるに到つた。彼等は彼等の眞實の敵を眞實に知つている。プロレタリアーの×を倒す爲めには如何なる努力をも吝まない。彼等はプロレタリアーの×を倒す爲めには如何なるものゝ力とも共同する。

即ちプロレタリアーの×と對立するものなれはその何であれ彼等はそれを庇護し、援助し、それと共同する。即ち左右の社會民主々義者が、常に彼等に庇護され、援助され、そして彼等の同盟者となつているのは、彼等社會民主々義者が、プロレタリアーの×と常に對立抗爭しているからである。かくしてブルジョアジーは、その經濟戰線に於ては、金力を以つて勞働ボスと稱する社會民主々義を援け、政治戰線に於ては、權力を以つて政治ボスと稱する社會民主々義者を庇護する。

かゝるブルジョアジーのプロレタリアーの×に對する反動的狂燥政策は、彼等の反動化と共に、必然に右翼社會民主々義者を反動化せしめ、左翼社會民主々義者をして益々日和見主義化するに至る。日本ブルジョアジーと社會民主々義者との共同戰線は、如上のやうな、プロレタリアーの×への對立なる原則的な理由の外に、極めて一時的、過程的ではあるが、尚一ツの意義を以ている。それはブルジョアジーの同盟者との間に於ける矛盾の對立之である。

二

日本のブルジョアジーは、その特殊な歴史的發展の故に、封建勢力を克服し得ず、彼等の勢力と抱き合ふことによつて、その同盟の上に自己の覇權の確立を企てたのであつた。今や世界の資本主義は、所謂帝國主義の段階に這入り込み、日本ブルジョアジーも、世界帝國主義の一環として、その金融支配の確立へと急いでゐる。かゝる日本ブルジョアジーの金融支配確立の過程こそ、彼等の同盟者である封建勢力との一時的過渡的對立の過程であり、かゝる彼等の陣列内に於ける矛盾の對立過程こそ、右翼社會民主々義者の反動化の過程であり、左翼社會民主々義者の日和見主義化の過程である。

日本ブルジョアジーが、ブルジョアジーとして、その結成の過程の過程に於て、何故に封建主義を克服し得なかつたか？吾々は今それを此處で殊更に論議しやうとはしない。事實その必要を認めないからである。それは最早今日迄に多くの同志によつてあまりにも度々論議し盡されたからである。

ともあれ、日本ブルジョアジーは封建主義を克服するよりも、之と抱き合ふ事に依つて彼等は彼等として階級的に結成し得たのであつたが、今日では、彼等と封建主義との同盟の上に、その勢覇を確立するには、少くとも抱き合つている封建勢力が桎梏となつて來た。たが此處に謂ふ勢覇の確立とは、單なる權力の執行上に於ける抱合にのみであつて、權力の移動を意味するものではない。それは、既に權力はブルジョアジーの手に歸して居り、そして、それが封建主義との抱き合ひの下に於てのみ彼等の階級が結成しているからである。

それにもかゝはらず、ブルジョアジーの覇權が封建主義と衝突するのは、彼等の同盟が、一は傳統を固執するものであり、一は傳統を揚棄せんとするところに、單なる權力の執行上の障碍が生ずるからである。

吾々は今それを、貴族院の廢止——少くともそれの改革と、樞密院の廢止問題に見ることが出來る。日本ブルジョアジーは、その立憲政治の確立の過程において、貴族院、樞密院なる上院制度、並びに顧問制度は、彼等の階級的團結には缺く可からざる制度であつた。

三

日本ブルジョアジーが、自己の正面の敵手プロレタリアーを、それ自體の階級として生むに至る迄は、その自由競爭時代に於て、所謂傳統は、單なる民衆を動員する道具とすることが出來、國民運動、國粹運動を指導し得たのであつた。たがしかし、最早彼等は傳統を桎梏として揚棄せざるを得なくなつた。彼等が、彼等の同盟の上に勢覇を確立するには傳統を一蹴しなければならなくなつた。それは單なる權力の執行上に於てのみではあるがそれには民衆の壓力を必要とする。けれども民衆は今日では單なる民衆ではない最早民衆と稱する超階級的民衆は存在してゐない。階級對立の社會は今日では眞二ツに

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

分れている。彼等が假へ一時的過渡的にもせよ、封建主義と對立するには、多かれ少かれ組織を持つた——階級的に對陣した民衆を力とせねばならぬ。此處に右翼社會民主々義者の反動化、左翼社會民主々義者の日和見主義化の社會的存在の條件がある。

右翼にせよ、左翼にせよ、社會民主々義者は、合法主義者であり、議會主義である。ブルジョアジーの理論的指導者は、プチブルジョアジーであり、急進自由主義者である。彼等は立憲合法主義者であり、謂ふところ〻議會主義者である點に於て社會民主々義者と軌を同じゆうする。而して、社會民主々義者と急進ブルジョアジーとは、共にプロレタリアーの×とは尖鋭に對立する點に於て此處でも完全に一致點を見出すに至る。

彼等は——社會民主々義者と急進ブルジョアジー——プロレタリアーの×と對立すると同時に、又封建主義にも對立する。

社會民衆黨幹部の御用振りと、日本大衆黨幹部の反動化、勞農大衆黨創立發起者の裏切行爲。吾々は實以てさこそ〳〵と肯はざるを得ない。

四

たゞ吾々は、社會民主々義者の社會的存在の必然性を說くたけでは納まつていられない。進んで彼等の沒落過程を說かねはならぬ。資本主義が既に世界的に沒落過程を辿つているやうに、社會民主々義者も、彼等の主人と共に沒落の過程を辿つてゐる。けれども、社會進化の過程の必然性のみで、資本主義が容易に沒落して行かないやうに、彼等も決してそれの社會的必然性のみでは決して沒落するものではない。のみならず、日本の資本主義は世界的に沒落過程を辿つてゐながら、國內に於ては尙上向線を辿つているやうに、社會民主々義者は着々として、自己の墓穴を掘りながらも、日本ブルヂョアジーの驥尾に附して上向線を辿つている。けれども、このこと自體は實は彼等の運命の盡き始めの第一步を踏み出したことなのだ。

それは何故によつてか？

日く淸黨運動同盟の出現である！

では淸黨運動同盟とは何か？

吾々はそれに答へるに先き立つて、先づ淸黨運動同盟が生れるに至つた歷史的必然性を說くことゝする。

唯物史觀は凡てのものに偶然なるものゝないことを敎へてゐる。淸黨運動同盟の出現としても決して過然的なものではない。必ずそこには原因結果の關係があつたのだ。無產階級の政治運動の危險性に就いては、吾々は今此處で喋々しやうとはしない。たがしかし、その危險性については、戰線が部分的に散在してゐるときは極めて簡單に片付け得られるもので、そして吾々は片付けて來たのであつた。たがしかし、戰線が擴大せられ、そしてそれが統一に向つて進むに連れて、それの危險性も擴大せられ、統一せられ組織化してくる。隨つてそれの豫防も組織的にならざるを得なくなつてくる。

日本大衆黨と云ふ、ともあれ七黨から成る無產政黨が合同して、大きな階級的政黨が出來上つた。從つて舊各黨の札付の社會民主々義者や反動幹部も一つ屋根の中に巢を作るやうになつた。けれども彼等は、七黨合同をやつたと云ふので大見得を切つて階級面をして納まつてゐたが……否納まらうとしたが、臭い連中が澤山集まつたのでとても鼻向けがならぬ程に目立つて來た。かやうな組織立てられた臭團體は、組識立てられた淸淨機關に俟たざれば淨化作用は行はれるものではない。そこで、舊各黨に臭幹と同時に散在してゐた淸淨分子が彼等臭幹の結合と同時に又結合をしたのであつた。

五

しかしながら、かくして生れた淸黨運動同盟は、單なる臭幹排除の機關ではなく、尙他に重大なる役割と使命を持つていた。今そしてそれを着々として果しつゝある。

我が國無產階級運動の方向轉換當時にあつては、福本和夫氏による理論鬪爭によつて、陣營內は組合主義、折衷主義、マルクス主義と決然と區別し、所謂全面的な進出を促進せしめたるものであつたが、今日福田狂二氏に依つて成された淸黨運動は、陣營內に於ける反動と日和見と階級的分野を區別し、戰線を眞實に統一整理せしめ、プロレタリアーの×の×××の道へ鬪爭を押し進めんとするものである。

理論鬪爭時代にあつては、協調主義、機會主義を叩き潰し、眞實のプロレタリアーの×への建設を企圖したものであり、淸黨運動時代にあつては、議會主義者、合法主義者を叩き潰し、眞實のプロレタリアーの××××へ進まんとする努力のときである。

故に、即ち、我が淸黨運動同盟は、反動主義者、左右兩社會民主々義者、並びに之等が主人等々の、一切のプロレタリアーの×に對立する者共を正面の敵として鬪爭するものである。實に淸黨運動こそ無產階級政治運動をして「凡ての階級鬪爭は政治鬪爭である」と云ふマルクス、エンゲルスの言葉を實現化せしめて、プロレタリアートをして最後の決勝點に押し進めるところの、現代プロレタリアー鬪爭の根幹である。かゝる躍進的な鬪爭、淸黨運動を通ずることなくしては斷じて無產階級は解放せられ得るものではない。それは春を迎へんとすれば、先づ極寒を通過せねばならぬやうに、國際的裏切者第二インターとファッショを叩き潰すことなくしては、國際的プロレタリアーの勝利はあり得ない。日本プロレタリアーは國內に於ける反動主義、社會民主主義を叩き潰すことなくては、プロレタリアーの×の××すら完成しないであらう。

陣營內の反動主義者を叩き出せ！

社會民主々義者を追つ拂へ！

日和見主義者を驅逐せよ！

淸黨運動同盟を支持せよ！

世は擧げて淸黨運動時代である。かくて日本無產階級は眞實に自己を解放するところの×、プロレタリアーの××××をするの正しき道を進み得るであらうし、そして速かに再組織して、決定的な勝利を期して、帝國主義者を歷史の範疇に放り込んで仕舞はねばならぬ。

一九二九、二、二五

追記　本稿に於ては淸黨運動が反動主義と日和見主義とを明かに區別することを說いたが、それ等が如何なる陣營に潛み、如何なる惡事を爲し如何に行動しつゝあるかを明かにする時間を持たなかつた。吾々は今後淸黨運動を通じてそれを明かにするであらう。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

全國勞農青年同盟の反動的傾向を克服せよ

清水寛一

一　全國勞農青年同盟は、創立後未だ日淺く何等の闘爭をも遂行し得なかつた。たゞ、漫然と日本大衆黨の成立を動機として寄り集まつた青年の集合に過ぎぬ。同盟が闘爭をなし得なかつたのは、未だ組織への努力が實行せられてゐなかつたのに起因する。この全青同盟の緊密な組織を促進すべき、階級的問題を提起したものは、清黨運動であつた

何故なら、同盟を作りあげた客觀的母體とも見做すべき日本大衆黨の階級性擁護の問題は、階級的先端に立つて戰ふべき任務と使命をもつた全青同盟の、階級的神經を引緊めずにはおかぬ重大なる問題であつたからである

青年同盟が、日本大衆黨の幹部の裏切的行爲、その反動化と果敢に闘爭をなすべき事は、すでに一月二十日の創立大會においても、長野縣支部の諸君によつて具體的に前面に押し出されたのである。又、清黨運動が具體化して日本大衆黨の動搖を來たすや、同盟は、黨の統制委員會、執行部に對して「事實の眞相を徹底的に究明すべし」と警告した。されば、この清黨運動が黨の一部墮落幹部によつて、臭い物に蓋をする樣にして、鈴木、黒田古市の各常任中央委員、又、統制委員長の退席辭職を餘儀なく爲さしめる程不可解なる態度をもつて、有耶無耶に結末をつけんとする時に當面しては、層一層の階級的神經を尖して、問題とすべきであつた。然るに、事實はその逆であつて、返つてこの日本大衆黨の不可解なる行動を是認せんとするが如き傾向が強化して、階級的先進分子を顚倒せんとした。この奇怪なる非階級的傾向を克服する事こそ、全國勞農青年同盟の當面の任務であり、この任務を強力に遂行して行く過程において組織網は擴大し、日常闘爭を果敢に戰ひ拔く事が出來るであろう。

二　然らば、其の非階級的傾向とは何ぞ。卽ち赤裸々なる反動化の姿は云はずもがな、日和見的傾向も一括する

(1)清黨運動を中心として露骨なる姿を表した、反動的傾向は、日本大衆黨のかの何人が見ても不可解なる幹部の處置を、完全に承認する一群である。××をかつぎ廻らんとする幹部を承認する奇怪なる存在である。

(2)日和見的傾向とは、清黨運動を一應は承認しながら、幹部の醜事實を承認しながら黨の動搖をひたすら恐れるの餘り、事實において、墮落幹部の存續を希望し、階級性擁護を怠る一群である。彼等は、この問題を取上げる事は青年同盟の動搖を來すとの理由によつて「諸君よ、青年同盟と黨とは別個の存在である。黨の問題を問題にしたら、青年同盟の本來の任務が遂行出來ないぞ目をつむつてゐようではないか」と云ふ。

三　かゝる二つの傾向が何者であるかと云ふ事は明かである。全青同盟を墮落の泥沼に陷入れるものではないか

成る程、青年同盟は黨とは別個な存在である。日本大衆黨の制肘は斷じて受くるものでないといふ事は、創立以前において闘爭的青年分子によつて戰ひ取られた誇りであつた。しかし、別個な存在である事が、日本大衆黨の反動化を黨の問題だから知らぬ存ぜぬと云つてゐる理由にはならぬ。いやしくも、青年同盟が階級的闘爭團體である以上、無產陣營の一部においても、それはホンの一少部分の反動的傾向でも執拗に關心を持ち、その傾向を克服しなければならない。況んや、今次の問題は同盟員の大部分が黨員である、しかも、日本の最大な無產政黨たる日本大衆黨の問題ではないか。かゝる最も重要な階級的問題が、青年同盟の任務の圏外にあるものとしたなら、われわれは何故に青年同盟を結成したのかを反問したいのである。彼等、日和見主義者は云ふ。

「同盟には當面、治安維持法反對の闘爭があるではないか」と。しかした。田中反動内閣と取引した幹部を擁護しておいて、どうして治安維持法と戰ふ事が出來るか それは丁度、子が親を殺す樣な事た。階級性を拋棄する者が、治安維持法と戰ふなど、とぼけた言辭を弄する事は矛盾の極致である。治安維持法を紛碎する運動は、裏切幹部を撲滅する運動であらねばならぬ。

四　以上の如き反動的傾向に禍された全青同盟内の戰闘的青年分子は如何にして此傾向を克服すべきであるか

われわれは、青年の階級的感激の前に、秘密にされ、公表をひたすら恐れてゐる統制委員會の調査、中央常任委員會の經過を曝露しなければならぬ。同時に、青年同盟の組織を急速に遂行しなければならぬ。そして日本大衆黨、及び同盟内の反動的分子の策動による動搖の隙を與へてはならぬ。

われわれ、全國勞農青年同盟の左翼は、この反動的傾向との闘爭を、全青年戰線統一への闘爭と結びつけねばならぬ。全青年戰線の戰闘的統一への努力は、墮落幹部の行動を全無產階級的規模の上において紛碎するであろう。

反動的、日和見的傾向と抗爭せよ。

青年戰線の統一によつて全戰線的規模の上に反動化勢力を驅逐せよ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

清黨運動は如何なる處まで進展したか

舊日勞黨　重松清美

我が清黨運動は無産黨攪亂の目的を以て生れたのではない、否凡てを支配する強力なる帝國主義ブルジョアーに對抗せんが爲の、階級的戰闘力擁護の運動に外ならぬ

その爲には決して舊黨ダラ幹の跋扈を許さない。若し我が階級戰場内に次から次へとダラ幹が現れたら、彼等の過去に如何なる立派な歷史があらうとも我々は決して苛酌しないであらう、たとへ攪亂者の濡衣を着せられようとも。今日の如く全ブルジョアジーが凡ゆる手段を弄して我陣營をかき廻し、擾亂し、絶滅せんとあせつてゐる時に於て、我々には何が最も必要であるか。日常闘爭可なり、理論可なり、併しながらその指導者にして裏切的行爲あり、不純なる物を有する以上、其等の闘爭が果してブルジョアジーを刺す爲のメスたり得ようぞ。

それは刄のない刀であると云ふより寧ろ自らを殺す爲の九寸五分であり、階級戰線を毒することこれ以上甚たしきものがあり得ようぞ。彼等こそ將に階級戰線の眞の攪亂者であり、分裂主義者ではないか、若しそうでないとしても、ブルジョアジーの手先の役割を果すものである以上、全無産階級の最も考慮を要する敵であらねばならぬ"かゝるダラ幹の總てを我陣營内より追拂ひ、その鋭鋒を更に尖鋭化し、より強力なる闘爭力を培養する事こそ混沌たるこの階級戰線場裡に於て成さるべき、否成さねばならぬ必要事ではないか。

たからこそ我々は、譬へ攪亂者の濡衣を着せられようと、除名されようと、否如何なる障害あらうとも七轉八起の覺悟を以て運動を繼續しつゝあるんだ。

混沌期に於ては狡猾なる者の策略は何時も正義派を壓倒する、されどその陋策が曝露される時、必ず正義派の勝利となり、彼等をして再び起つ能はざるまでに到らしめるであらう。でなかつたら極端に反動化してブルジョアジーと共に醜き末路を急ぐのみ、日本大衆黨のダラ幹こそ今將にかゝる道程を辿つてゐるではないか、

去る二月十一日の常任委員會に於て、その正態を黨員大衆の前に曝露せらるゝや、奸智にたけたる彼等は死力を盡して十三日の中央執行委員會に臨むに到つた。

警察と氣脈を通じて傍聽者を制限して嚴重なる取締をなし、我儘なる聲明書を出して、事の眞相を知らざる中央執行委員の目を俺ひ、即ち統制委員の調査を發表するに當つては、正確なる調書を避けて不確實なる調書のみを發表し（常任委員會に於て報告せられた調書の總てを發表しなかつた）尚最も確證を握れる淺原代議士の眞相發表を拒み爲に淺原氏を初め舊無産大衆黨、舊民憲黨の公平なる常任委員の總て及大道統制委員長等を怒せて辭表を叩きつけて憤然席を立つの餘儀なきに到らしめ、常任委員を完全に彼等の手に占領して中央執行委員を籠絡し、新聞紙に發表せられたるが如き矛盾極まる決議文を、横押しに可決した。かゝる行動こそ戰線統一を攪亂するものであり、分裂主義者の行動ではないか、

彼等は一時を糊塗する事によつて、中央執行委員のみを瞞着する事によつて勝利を盲信してゐるであらうが、眞の勝利は明かに我等清黨運動の手に歸したのである。

我々傍聽者は會議の時に於てこそ發言を封じられたれ十一日の常任委員會に於ける統制委員會の調書の發表され中央執行委員會に於けるかゝる彼等の態度は、制限されたる少數傍聽者の我々の口を通じて必ず全黨員否、全無産階級に曝露せらるゝではないか。見よ、退席せられたる幹部の辭表理由と、ダラ幹のみによつて作製せられたる決議文とが如何に矛盾してゐるかを、

我が清黨運動はダラ幹に致命傷を負はせたるのみでなく、反動團體の動搖をも招致するに到つた。

今まで田中首相擁護に盲進してゐた反動團體の一部に於て盛に倒閣運動が捲き起されてゐる。（東京市の各所には彼等のポスターがはり廻されてゐる）

それは首相が「麻生に金を遣つたのは思想善導の爲た」と成人に口を滑らせたのに原因するとか、

今や我が清黨運動はかゝる處まで進展した。我々を指して攪亂者とか、分裂主義者だとか云ふならば、我々はそれを甘受しよう、但し夫は階級戰場裡に於てではなく否我が陣營内の不健全分子を放逐する意味に於てゞあり反動團體に對しての攪亂、分裂の意味に於てゞある。

全無産大衆黨讀者諸君！

やがて曝露されるであらう事の眞相によつて我々の清黨運動が如何に正しかつたかを知られたら諸君！不純を交へざるそして眞に階級性に目覺めたる者のみの固き固き握手によつて果敢なる日常闘爭を展開しようではないか、

而して少しの間であつたにもせよ、彼等ダラ幹に毒せられて失はれたる闘爭の損害を取かへさうではないか。

打倒田中反動内閣！

日本大衆黨清黨同盟萬歳！

一九二九―二―一四

中央執行委員會傍聽の歸途草す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全土戰報

結束を固めて暴壓と裏切者に逆襲する

勞青大阪支部

全國勞農青年同盟大阪地方支部は去る二月一日四貫島セツツルメントに於て勝利的成功裡に創立大會を擧行した。

此の創立大會に致るその間、幾多の非階級的總聯合幹部の裏切にわざはひされ、或は××な官憲の彈壓雨下を潜つて、林吉爭議、穀肯物市場爭議、和歌山紀陽染工爭議の如き、青年同盟は總動員を以て此の闘争に集中した。左翼戰線破壞の爲、振はざりし關西の戰線は吾全國勞農青年同盟の決死的闘争の展開により再び擡頭し始めたのである。

時しも日本大衆黨内部に巣食ふ反動の元兇の配下麻生、平野、河野、田所の排撃闘争が惓起り始めるや、吾勞青大阪地方支部は最後の準備委員會に於て清黨運動の積極的支持參加の件を滿場一致可決し直にダラ幹の大衆的排撃闘争に移つたのである。

一方には田中反動内閣打倒の爲めの闘争、帝國主義戰争に抗する闘争を勇敢に敢行して來た吾全國勞農青年同盟大阪地方支部は、加重してくる暴壓をけ飛ばし、反動ダラ幹排撃闘争を更に大衆的行動に展開しつゝある。

全國の無産青年諸君！

刻々迫りつゝある世界帝國主義戰争反對闘争は焦眉の急務だ、然し無産政黨内部に根をはる反動共の驅逐は更に吾々の當面の任務だ、此の闘争をキ避する奴は支配階級に屈服する以外の何奴でもない。

吾々勞青大阪地方支部は此の重大な秋、當面次のスローガンを掲げて闘はねばならぬ。

帝國主義戰争の準備と抗争しろ
反動麻生、平野をたゝき出せ
清黨運動に積極的に參加しろ
田中反動内閣を倒せ
即時戰線を統一しろ
全國勞農青年同盟大阪地方支部万才

中部の清黨運動

（大阪KKK）

建國會にも劣らない平野、麻生の反動漢の下僕、原廣吉なる馬鹿者を擁き上げて、過ぐる一月廿五日、日本大衆黨名古屋支部は御祭り騷ぎ的に大衆なき大衆黨名古屋支部を創立した。その創立は反動團體のそれより以上の憤怒と悲しみを以つて、中部の戰闘的勞働者農民は迎へた。

之を機として、吾清黨運動同盟名古屋支部、及日本大衆黨階級性擁護同盟名古屋支部は相協力の下に、之等の反動的啞流との闘争を強力に展開しつゝある。

吾が同盟當面の闘争は原廣吉及之に金錢に因つて追隨しつゝある、反動の手先放逐除名絶滅でなければならぬ、吾が中部の戰闘的勞働者農民は彼等の如き、非闘争的而も反動漢を決して吾々の戰線に加へるべきではない。

彼等の如き非階級的、反動の手先を中部に一歩なりとも入れたならば中部の戰闘的傳統は抹殺されてしまふだらう、見よ岐阜の戰闘的三千の農民は之等の反動漢は勿論、×××××をけ飛ばして、さきすました××を引つさげて××したではないか、又昨年の春同じ地方の農民が岐阜市廳までデモで押しよせたではないか常に大衆的××××を以て押收彈壓に答へて來た勞働者農民に斯くの如き馬鹿者は絶對に不必要だ。

吾が中部の戰闘的勞働者農民は今やブルジョアジーと戰つた大衆的××行動をそのまゝ原廣吉一派及更に之をつきつめて麻生、平野河野田所に報ひ様としてゐるのだ、斯くした大衆運動が急速に展開されて來た時清黨同盟、及階級性擁護同盟は此の先頭に起つて、進んで政擁同盟と提携し勇敢に闘争しつゝある。

やがて此の大衆的××行動が中央に迄進出して行つた時こそ麻生、平野、河野等々反動的ダラク幹部の×××止まるのだ。その時こそ正統無産階級運動は生れるのだ。

全國の戰闘的勞働者農民諸君！

帝國主義戰争の危險は濃霧にどす黑くたゞよつてゐる今日、吾々は急速に此の仕事を片附けてしまはねばならぬ。

××××は簡單に物事を解決するのだ、

中部の勞働者農民は用意してゐるぞ、何時でも起てる迄に

全國の勞働者農民諸君、

帝國主義戰争に反對すると同等に總ての闘争を清黨運動に集中せよ、
平野、麻生、河野をたゝき出せ、
帝國主義戰争に反對しろ
岐阜農民の××か××しろ
正統無産階級運動の統一へ
清黨運動萬才

（清黨同盟名古屋支部）

岡谷に清黨運動

何故日本の勞働運動者は岡谷に眼を向けないのでせうか、農村は極度の疲弊につれて經營困難を告げると共に子女を競つて製糸工場へ出しま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

す。製糸工場の内容を後日に於て調査しよく報告致します。お話にならぬ程慘又慘の状です。岡谷へ來てから、「進め」讀者八名が出來ました。一名は「○製糸に勤務してゐる工女が居ります。必ず積極的に岡谷に於て「進め」の發展をなす覺悟です。他の所と異なつて岡谷は官憲等の壓迫は多いでせう。けれど私は警察を恐れて私達の運動は進展せず、勇敢に××を高くかゝげて猛進致します、又來月には一軒借家して「進め岡谷支局」の看板をかける筈であります。私の運動を見守つて下さい。

四萬餘の工女には紅燃ゆる闘爭心を空しく抱えて反逆の血潮を高鳴らせてゐる人々もあります。「岡谷製糸研究會」こそ、彼等の城を守る唯一の衛兵を勤むる所なのです、工男が各製糸工場に入場するには必ず同所の手を經ねばならぬので、少しでも赤いと思へば各工場は同所の通知に依り使用しません、兎に角日本一を誇る娘子軍の街、そこにはあらゆる謎が秘められて居るのです。極度の營養不良に身はおとろへて、慰安と云ふものはなく、ために工女等は淫蕩を追ひ岡谷を中心として風俗は紊亂してゐます。官憲は資本家に買收され、各新聞記者、新聞社は製糸業に依りて生活してゐるのですから彼等の横暴は實に言語に絶するものがあります。

清黨運動大贊成

けれど岡谷はアナキスト共がゴロ〳〵してゐて、つまらないマネをしてゐるので、他人が私達の行動を同一視するので殘念です、運動上にも影響は甚大です。「全十戰報」の原稿を十日迄に送付致します。何か血は湧き肉躍る材料をです先づ御禮旁御報まで

（岡谷支局　鹽原秋水）

清黨運動信州戰線

清黨運動に關して黨本部からは、「清黨運動の事實無根に就き、斯くの如き行爲を爲すもの又爲さんとしたるものは斷然たる處分をする」とぬかして來たさうだ。

で、今迄大衆黨長野縣支部でも三回小委員會を開催して決議文が出すべく努力した

然し、何分今度日本農民黨の支部が參加して居り、委員もダラ幹派が多數と云ふ状態です、殊に篠崎が反對、又日農派の爲委員長も反對であるから、より運動が困難である。然し、今夜最後の決定を見るべく、擴大中央執行委員會を開催する事になつてゐる。

今迄も何回となく黨を脫退しやうと決意したが俺はもう脫退しない、俺達の味方は大衆であるから、飽く迄大衆を目標として果敢な闘爭を續ける、それで松本では市會議員候補を五名立てる事に俺と川本見山青年同盟に於いて決定して居るから、必ず今夜の委員會で彼等ダラカン派を克服し、明日忽ちに聲明書を發すると同時に黨本部の中央執行委員會及統制委員會を彈劾する。飽く迄やる。徹底的にやる。死ぬまでやる。三日中に進め號外を出してより猛烈にダラ幹派をやつつけてやる。すぐ送る

同志よ！必ず猛闘せられよ。

闘士が必要になれば五人までは何時でも行く。打電せられよ！信州は今や大混亂状態である、官憲も血眼になつて居る。愈々血と肉と骨とを以てあたる時が來たのだ。

必ず何者にも屈せずやらう。正しきものに對しては何の敵もない、同志よ。死ぬまで闘ふ。

第一報として　II　生

×

本會は、日本大衆黨一部ダラ幹が執れる非階級的な行動に對して、斷乎として戰ふことを今日茲に固く誓ふものである。——夫は、黨員としての我等の當然の任務であり、同時に日本大衆黨の階級性を擁護するに外ならぬと信ずる。

進め社信州讀者會
代表　西　卓吉

×

本協會は、第一回總會の名を以て日本大衆黨の階級性を擁護すべく清黨運動への參加を本日茲に固く誓ふものである

二月一日

信州文化協會第一回總會
代表　工藤　勝市

第二報

日本大衆黨第二執行委員會は異常なる混戰理論的闘爭の後、左の決議文を黨本部に昨夜（二日夜）直ちに發送せり。詳細なる議事錄は通信社宛發送せり、御一覽を乞ふ

決議文

本部の一部幹部の醜惡なる事實に關しての常任中央執行委員會及統制委員會の議事錄を全黨員の前に公表せられん事を長野縣支部聯合會第二執行委員會の名を以つて茲に決議し要求す

長野縣支部聯合會
執行委員長
書記長（自署）

信州文化協會、青年同盟も積極的に行動を開始した。

右決議發送せり。勿論黨本部からは回答なきは當然と思ふ。或は除名せらるるやも知れぬが飽く迄やる。此委員會には多數の反對者もあつたが必死になつて決議させたた。またく俺の前途は多望。死ぬまでやる覺悟でゐる東京方面の情況を知らせて下さい。

第一報終り　工藤勝市

本日青年同盟から青年團體會議の提議を受けた。本支部では委員會開催の結果私が代表として出席する事

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

に決定しました

　で九日朝又御邪魔に上りますから惡からす、今度何か御土產を持つて行くことにしませう

　明日進め號外を發行します、それは「淸黨運動の件」と「青年同盟の件」「進め讀者會の件」です。上京の時持參します、大衆黨支部としての聲明書も二三日中に出す事になつて居ます。歸國してから全く不眠不休の闘爭でした。幹部派の策動があつて非常に困難しました、殊に今度日本農民黨系の黨員が二百名計り參加したので執行委員が七名彼等にあるのでね、でも勝つた。吾々は第一戰に於いて完全に勝つたのです、第二戰とは信州に於いての意味です 青年團體會議で淸黨運動を提議する決心で居ます、是非其後の状勢を御知らせ下さい。

　◎第二報終り　工藤　勝市

「進め」を讀んで

退學

所謂文化政策の正體

　朝鮮忠淸南道〇〇公立高等普通學校にも冬期休みが來たのだ。

　朝鮮前總督！齋藤の「文化政策」發布以後實に××的政治は現山梨に相續されて、×に行く老體におるにもかゝわらず、無數の良民を×××××すのだ。

　朝鮮同志は一言も云わず彼等ブルの××政治の下に呻吟して居るのだ。其の最近の一例を書かう。

　朝鮮忠淸南道〇〇公立高等普通學校第四高等學年に學ぶ李〇〇同志が冬期休みに自家に歸省する道中乘換の「T」驛に着いた時同志李君は我等の死守する戰闘誌進め十二月號を入れたカバンを最大急行列車の乘車時間の急になつたのにいそいで列車に乘つたかと思つたら待合室に我等の死守する「進め」の入れたカバンをおいて乘つたのでモウ列車は動いた。其のカバンには同志プヘリンの書いた「轉形期の經濟學」の赤本が入れてあり七、八卷の敎科書が入れてあつてカバンのおもてには自分の姓名がヘツキリと大字にて書いてあつた。

　それを發見した某驛夫は滿足なる顏色をして好氣心と名譽とを考へたかと思ふと、××の官署に申届けた金剛石でも發見した如く彼等はカバンと共に上記學校長と密約をして休みが終つた開學當日に李君はやられた。毒牙に！何理由なく退學させた。

　此等が彼等の主張する「文化政策」の一例であつた。同志李君は鐵條網から出されて某私立中學校へ在學中で健在で居るさ。

　日本同志よ！帝國主義のブル共は××の如くかみつくのだ。日本の同志よ！手を出せよ！我等のプロレタリアと固くシツカリと握り〇〇社會が實現する迄死をとして闘爭するのだ。我等の勝利の爲め？

　田中反動内閣をぶち破れ！治安維持法を徹廢しろ！ブルヂョア議會を解散しろ！軍國主義敎育を絕對反對しろ！帝國主義戰爭の準備と抗爭しろ！全國の勞農無產青年よ團結せよ！無產階級は即時一ショになれ！

朝鮮赤火線生

加越戰線漫報

その一

　北陸タイムス紙の報ずるところによれば富山縣第二區社會民衆黨支部長松本福督氏は新湊區議戰に打つて出るのに社民黨のパツクが災ひするので支部長を辭したとある、社民黨の支部が第二區に出來てゐたことを今日迄二區の人が知つてゐない筈、勿論辭した松本福督氏を知つてゐるものはない。

　ついでたが二區には進め支局もあれは日本民衆新聞支局もある筈だ。おかしなことをして貰ふと眞劍な分子が困る。

その二

　北陸四縣（福井、石川、富山、新潟）下の日本農民黨系はさきに合同した日本大衆黨への參加に反對してゐたが、今回四縣の社會民衆黨系に參加を求め例の須貝快天を中心とする新黨「日本海青年農民黨」を組織する計畫をたて福井縣では高島憲太郎、石川縣では大鋸榮多、富山縣では宮崎喜知藏などが產婆役となり同志を糾合中のところいよく二月十日富山市で準備會を開き更に同市に於て三月中旬創立大會を開催するとのこと須貝や大鋸のやうな反動的分裂野郎の出現にも困るが四縣下の社民黨系はまさかこんなゴロ的と合同するほど呆けてはゐますまいて。

その三

　社會民衆黨石川縣第一支部では政治季節になつたので左の公開狀を發して金澤市の各政黨に立會演說を申込むことにした

（公開狀）現下複雜な政情下にあつて各政黨は徒らに他黨を傷つけ罵倒するはかりである斯の如きことでは現下の政局を打開することが出來ないからこの際われ等は各政黨が一堂に會して一般民衆にその主義主張を知らしめ公平な審判を受くべき義務があると信ずる。うまく行つたら御慰みた。

その四

　高岡市内の舊勞農黨員の組織する高岡市政革新同盟組織準備會は一月二十一日夜同市高士館で水道問題に關し政談演說會を開いたが、出席辯士十餘名は大部分中止同夜自由獲得勞農同盟結成萬歲云々の聲明書を市中に撒布した舊勞農黨員數名は出版法違反とかで高岡署に檢擧された。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

その五

東礪波郡山野村の小作人農事振興會では一月二十八日同村圓光寺で臨時總會を開いたが出席人員一百五十名、明治九年頃に同地に實施せられてゐた分與米制度の復活を小作側から地主に要求す可く決議した。分與米とは地主から小作人への納米一石に付き四升を割戻したもので明治の初期の地主の善擧?であるさうな。

その六

富山縣農會で指導者となつて農村救濟請願と云ふものを組織した。

これは地方ブルヂョアの指導下にある農業倉庫業者、縣內各級農會等の支持を得てゐるものである。

二月十四日富山驛で勢揃へをなし十五日朝上京明治神宮に祈願參拜し次いで全國農民大會に列席、更に田中首相始め各大臣、政黨總裁幹部に陳情する等一大デモストレーションを行ふのださうな。そしてその先頭に白木綿の旗を押立て、各郡農會これに續きいろ〳〵悲壯な文句を書きつらねた旗を押立て行くのだと云ふその文句の決定してゐるものとして新聞にはこんなのが三節書いてある

×

九圓臺の峰より落つる今日の米倉に積りて甕となりぬ

×

有りたけの心盡してはけめども百姓ばかりあわぬものなし

×

奥山に道ふみわけて米安の聲聞くさきぞ秋は悲しき

と云ふのださうな。また滑川町からは米騷動記念爭議の本場滑川町民の意氣を知れと云ふのであつて東京市中を練り歩く豫定でこれが統制には島田縣農會長があたり、大會の大演說者には大石齋治、森岡正唯（ブル縣會議員）の二氏が出演さらに對外的連絡係は內藤技師、對內連絡係としては橋本技師が當ることになつてゐる。この內藤技師は日本農民黨系から推されて縣議戰爭に臨んで慘敗したことのある內藤友明君のことである。

その七

例の松本福督は八十五票で下から三番目で當選するや政友會へ身賣りしたとの情報が今ついた。

その八

中新川郡町長會では小學教員の月給が高くてやり切れんと云つて値下運動を起すことに決定したらしい。

その九

清算運動の爲ダラク幹部の策動によつて除名されんとする福田氏の爲進め社富山縣支局は讀者會其他の決議によつて二月十二日・日本大衆黨中央執行委員會に對して除名反對の電報を發した。

全勞青年同盟の受難と活躍記錄

礪波支局

舊日勞黨員及我が進め讀者會等を中心として徐々に結成に近づきつゝあつた我が青年同盟大阪準備會は昨年の合同大會を機會に舊無産大衆黨其他の青年同志を叫合し本年一月七日には盛會なる新年會を催した。集まるもの三十有餘名、實に當地方に於ける左右兩翼を交へての代表的青年鬪士を網羅した會合であつた。然るに横暴なる當局の彈壓は我々を總檢束し內八名は留置せられるに至つた。

この受難の記錄は一月十三日發行の本社號外の通りであつた。

しかしながら我等はこれによつて一層大なる覺悟と決心とそして勇氣とを培れた。

其外にも我が讀者會や青年同盟はダラ幹連の逆宣傳や中傷讒誣を受けてゐる。たが我々はこれにへこたれてはいけない。如何なる障害をも蹴飛ばして進むだけの決心を持つてゐる。

次に一月七日我が青年同盟舊無産大衆系準備員の關係せる林吉鑄物工場は工場主の賃金値下宣言に端を發し突如ストライキを決行するに至つた。これに對して我が青年同盟準備會は直に爭議對策委員會を設けて勇敢に鬪爭を開始した。

罷業決行以來二週間餘、演說會を開催すること數回、警察當局の彈壓と、勞働總聯合の防害的醜策があつたにもかゝはらず、頑強なる林吉を屈服せしめ、左の通りの好成績を以て大勝利に解決するを得た。

一、工賃ハ値下セザルコト

二、解雇手當ヲ制定スルコト

多少の犧牲者をも出したが解雇せられたものは、相當の解雇手當を取る事が出來た。

明二月一日は我が大阪支部の結成式た。基礎は出來た、層一層の努力を以て、あらゆる鬪爭に向ひ勇敢に活躍するであらう事を附記して稿をおく（昭和四年一月三十一日）

浪速支局重松清義

戰ひ拔く讀者會

舊日本勞農黨大阪府支部聯合會に勞働組合總聯合の野心家の魔の手が延びた。

我が大阪浪速讀者會員の屬する日勞黨浪速支部に於ても總聯合の幹部は遂に支部長を完全に彼等の手に丸め、我等正義派幹部の一團たる進め讀者會を攪亂せんと謀るに到つた。

彼等の奸策を知らざる我等は昨年末の舊日勞黨府支部聯合會に出席せざるものが多數あつたる私（重松）も總聯合の策動中たる支部聯合の態度を心好しとせず、職業を有する爲仕事を休んでまで行く氣にはならなかつたのた。然るに大會後支部長は私を呼んで云つた

「大會の時に某氏が發言を求め全

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

國勞農青年同盟（我々讀者會は又、この青年同盟準備會内部でも活動してゐる）が舊勞農黨系の舊無産青年同盟と同じ行方をしてゐる。殊に浪速區の重松は盛んに活動しマルキシズムの研究會までも開催してゐると云つた。その爲君の事が問題となつて丸山君（浪速支部の幹事にして總聯合の幹部）が調査することになつてゐる」と。

之に對して私は我が青年同盟及讀書會の性質を說き、同支部長の態度を糾彈せんとしたが彼は言葉を濁して之を避けるに到つた。

其後大會に發言を求めたといふ米氏を尋ねたら「僕はそんな事を云ふ樣な事はない。寧ろ青年同盟なり讀書會なりには共鳴してゐるし、殊に大會には出席することが出來ず君等に大會の樣子を聞かうと思つてゐた位た。」と然らは支部長の言葉の根據は何處にあるんた。私は次の幹事會を待つてこれを糾彈すべく決心してゐた。然るに本部の合同大會前黨大會で出席すべき代議員を選出すべき重大なる時機にもかゝはらず幹事會を開催することなく、一月の定例幹事會には私（名義だけでも書記長をしてゐる）には何の通知もせずに日をかへ（私が尋ねに行つた時には開催すると云つておきながら）勝手に幹事會を開催する等裏に廻つてあらゆる奸策を弄してゐる。

私は次の事實によつてこれが總聯合の策略であることを明かに知ることが出來る。

一、聯合内部からも全國勞農青年同盟の準備員や幹事は只一回準備會に顏を出したのみで其後一回も會合に出席せず

二、我等青年同盟大阪支部準備會が全力を集中して鬪爭してゐる靭青物市場爭議のビラを日本大衆黨合同記念演說會場に於て當局と共謀して押收した。

三、同じく我等が全力を集中してゐた林寺鑄造所の爭議に於て同情罷業を決行してゐる數工場に組合本部から檜本某を派して之を防害した。

しかも彼等は舊日勞黨が本部に於て合同するや舊無産大衆黨とは一回の合同協議會をも開かず日本勞農黨大阪府支部聯合會の看板を勝手に日本大衆黨大阪府支部聯合會と掛けて日本大衆黨を自稱してゐるのた。

此の如く神聖なるべき勞働組合や無産政黨を醜き裏切的行爲によつて我物顏に振舞ふ之等のファシスト的ダラ幹に對して我々正義派は徹底的に鬪爭すると共に近き將來に我が階級戰線より彼等を淸算すべき覺悟と自信とを有つてゐることを聲明する

眞に階級意識に眼覺めたる正しき讀者諸君よ、お互に共同して到る處に存在するであらう之等ダラ幹連を一人殘さず我が階級戰線より放逐しようではないか。

酷使反對に蹶起せよ

進め大阪讀者會

「おいもう起きろよ、郵便到着たぜ」

朝の三時、今眠つたと思へばもうたゝき起されるんだ。せんべいの樣な汚れたうすつぺらな蒲團の下から痛む眼をこすつて山の如き郵便區分「何ぼんやりとしとるんた誤區分はかりしあがる顏あらつて來い」主任の眼が光る。

十二時にねて三時、考へても見い終日板はりの立ちん棒、誰が考へたつて無理た。十九の青年に八時出勤して翌日八時まで十何時間の激務たもの。その賃銀が日給八十錢。

伸ぶ行くべき若き魂がそこにはたゞ悲慘を見るのみである。多くの同志は脚氣で倒れる。神經衰弱症にかゝる。結核た。それに對して何の手當もしてくれない社會た。吾等は生活の爲めとは云へ皆資本主義ブルヂョアー政治のぎせいなのた。我々はこの幾多悲慘に倒れる同志の爲に團結しよう。目覺めよ青年。新しき社會に。そうして我々無産者同志の爲に。

人形的官製青年團に魂を入れよ

熊本　永井松喜

思へば今より一年以前、即昭和三年三月一日是ぞ支配階級が青年をば自分の思ふ儘にねぢたり曲げたりする事の出來る樣にする爲に造られた所の官製青年團に對して、一大痛棒を與へた日であつた。吾等は當日の津田村青年團大會に於て「官製青年團脫退の件」を提出して滔々數萬言現時の官製青年團が青年を意氣地なき者に造る事にのみ急々とし、或は體育會、或は儉約貯金、政治的無關心政策、曰く何曰く何と一から十迄時代錯誤の施設經營を行ひつゝある事を痛擊した結果萬場一致を以て可決せられ即日縣下に聲明するに到つた。地方新聞は謂ふも更なり大阪朝日、毎日等の大新聞迄特筆大書して是の吾等の劃期的大英斷を報ずるや、頑迷なる縣當局、憲兵分隊等は擧つて吾等の運動を彈壓し村内特權階級亦彼等の走狗となり、村長小學校長等を中心に一個の彈壓委員會（表面は調停委員會と云ひ乍ら）を構成し極力吾等の運動を妨害し思慮淺薄なる青年大衆をば反動化せしめ青年團を一大混亂の巷たらしめたのである。加ふるに三月一日大會の決議により在鄕軍人分會、村處女會等へ其の優柔不斷の態度革正を意味する勸告文を突き付けた事等と相俟つて村内に恐らく未曾有の混亂とも稱すべき程に局面が進展した。支配階級の彈壓政策効を奏し吾等は自由の天

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め

地條に十六日にして、三月十六日青年團を解散するの餘儀なきに到らしめた。

意氣なき青年は再び官製青年團を構成せしに反して吾等は「自由青年團」を構成して、政治、社會問題等の科學的研究をモットーとして青年の啓蒙運動に奔走してゐる。荒狂ふ反動の荒波は狂奔しつゝ吾等の牙城に攻め寄せて來るが吾々は意氣益々高揚しつゝ記念すべき一周年の三月一日を迎へるのである。

天下の官製青年團諸君よ!、諸君自ら青年團の牛耳をとれ!、人形的官製青年團に魂を入れよ!

讀者會組合組織に進出す

島根縣八東郡津田村自由青年團

昨年十一月に初産の聲をあげた我が讀者會は或は勞農青年同盟準備會を經て支部創立へ、或は研究會に、或は爭議應援に、凡ゆる階級運動に活潑に進出してゐる。

更にまた、林吉爭議團を中心に關西一般勞働組合の組織にまで進出し去る二月八日執行委員會を開催し方針、役員其他を決議し愈々一般勞働者に呼びかける基礎をきづき上げた綱領はかうだ、(宣言は略す)

(草案)

一、我等は人類の理想と本能に從ひ相互扶助一致團結により、以て資本主義制度に對抗し全勞働者階級をして賃銀奴隷の鐵鎖より完全に解放せん事を期す。

二、我等は全勞働階級の現下の諸要求とした政策に基づき組合運動の伸張發展、其他あらゆる階級的正義の實現を期す。

三、我等は強力なる戰線樹立の爲に勞働階級の全國的結合を期す

我が大阪市に於ては右翼の總同盟とダラ幹の巣窟たる總聯合とが暴威を振るひ、極左の評議會系また振るはず、純向上會は總聯合と同じ穴の狸であり、組合聯合も何ほ威を振ふを得ざる狀態であつて、大工場都市として實に遺憾至極だ。僅かに總同盟の新進分子に期待をかける事を得るのみ、

今我々が起つて最も階級的の組合を組織せんとするは蓋し當然の歸結であつて誠に意識せる大阪勞働者の欲求であらねばならぬ。我等は群ふ全力を注いで墮落組合を倒して組合運動を革新し更に全勞働者の戰線統一に否資本主義制度を××するに到るまで鬪ひ續けるであらう事を。親愛なる諸君、否凡ての勞働者諸君、守れ護けよ純階級的の我が組合を、御互に固く手をつなぎ合つて果敢なる鬪爭を開始しようではないか。

所謂『家族的に』の言葉を粉碎せよ

大阪濱速支局　重松生

大阪の印刷屋——就中小規模な——で流行語?の如く家族的に言葉が到る處で聞かされる。

假令は「家族的待遇」とか、「一家族として働いて貰い度い」等々

此の言葉を表面のみから見るならば、何と溫情的な、人間味のある言葉であらう。

而し乍ら此の溫情的・人間味のある言葉の裏面には恐ろしい彼等の奧の手のある事を見逃してはならぬ。

「家族的待遇」とは忙しいからウント働いて呉れ、儲かれば家族的に金も出さう。

その代り儲からぬ時は喰ふだけで我慢して貰ひ度い。

何と虫の良い、彼等に餘りにも都合のよい。吾等に甚だ不利な言葉であらう。仕事が忙しくなれば、彼等は晝夜の別なく酷く使ふ事、牛馬以上である。而して吾々の働きに依つて儲けた時は何うであらうか? 彼等は家族的にせよ假令少々でも金を餘計に出した事があるだらうか。恐らく絶無だらう、彼れ等はあらゆる口實をもうけ結局差引なしと云ふのである。

例令出したにせよ、それはホンの鼻糞程である。吾々の晝夜の別なくコキ使はれたその代償として彼れ等が出す鼻糞程の金は全然問題にならない程度だ。そして一朝閑散になるや、早速首切りの用意を始めるのである。ヨシ首切りのないにせよ、給料をウンと値下げするとか、時間を無茶に延長するとかそれと殆ど同じやり方であり、吾々から止めねばならぬ樣に仕向けるのである。その手に乘つて止めでもしやうものならば彼れ等は如何に喜ぶであらうか、

要するに「家族的」に言葉は忙しいときは無茶苦茶に働け、仕事が閑散になれば出て行けと云ふのである。某印刷所の如きはその職工の道具迄持歸させ、それを無茶苦茶亂暴に使ひ、禮の一口も口にしないのである此れも資本主義社會ならば或は此れが普通であらう、であるならば斯うした言葉を吾大阪の印刷屋——殊に小規模な——から一口も口にしない樣に努力す可きである。

小資本家は結局吾々と同じ性質である以上幾分同情す可きも、斯る言葉を平然と口にする以上或程度迄戰ふ可きである。

大阪の印刷工兄弟よ、此んな彼れ等のゴマ化し手に決して乘るな。而して最も戰鬪的な勇敢な印刷工の組合の出現に努力せよ。

山陰はダラ幹排撃に決定したぞ

永田繁澄

支配階級の飽くなき搾取と彈壓の下に貧苦と戰ひ血みどろの鬪爭に依

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

つて我等無産階級解放の×旗の下に全國の無産政黨階級戰線統一の前提として全無産大衆の衷心からなる歡喜のさけびは遂に七黨合同日本大衆黨となつて生れたのた。此の喜びを僅數ケ月にして吾等の要望をにじりあんし無産大衆をブルジョアに賣りあまつさへ一味率ひて分裂せんとする日本大衆黨反動幹部平野、麻生河野、田所等の反動化事件に對し清黨運動こそ眞に吾が無産階級の歴史的使命である。階級的裏切者平野、麻生、河野、田所等吾が無産政黨を反動化せんとする奴は生かしてはおけぬ、寸時も早く葬れ！今吾等は田中義一を倒すより先づ奴等を葬つてのち始めて眞の運動が起るのた、今や奴等ダラ幹は其の一味を率いて分裂せんと計畫してゐるとか聞く吾等は今階級的立場を嚴守しあく迄分裂を反對し奴等ダラ幹を徹底的に粉碎せねはならぬ、日本大衆新聞に（第二號）デマゴーグを飛はして福田氏除名を聲高らかに宣傳すれど一人として除名に賛成者はなかつた筈た、もしあれはそれは奴等の一味た。見よ吾等の階級的意志は強固た、奴平野、麻生、河野のダラ幹を除名せよプロレタリアートは清黨運動に參加し日本大衆黨の階級性を擁護せよ。

福田氏除名絶對反對た。

島根松江準備會
片寄一郎、金坂繁信

俺達は鬪爭を忘れない

清黨運動同盟諸兄

俺達は鬪爭を常に忘れないぞ。われわれの陣營を敵に賣る樣な奴には絶對に服しない。奴等を除名しろ。

麻生は「ファシズム黨を考へてゐる」と公言してゐるぢやないか。われわれの陣營に怪しき旗を立てようとする賣黨ダラ幹の徒を即時除名しろ

口に左翼的言辭を弄して指導者らしく振舞つてゐた河野田所のニセ左翼主義者の正體をはつきり見た。もう容赦しない十把一からげにして無産陣營から放逐しろ。

わが鳥取縣大衆は、清黨運動を絶對に支持する。もし、少しでも反對する奴があつたらダラ幹の一味とし て大衆の力で粉碎する。安心してしつかり戰へ。

清黨運動万歳

鳥取縣日大黨黨員

清黨運動參加申込書

清黨運動に參加し日本大衆黨の階級性を擁護すべく誓ふ

昭和四年一月卅一日

愛媛縣新居郡中萩村岸之下
日本鑛夫組合別子鑛山支部

清黨運動同盟準備會御中

血にまみれし和歌山少數派

ダラ幹排撃に飽くまで戰ふ

前略同志諸兄の階級的奮戰に敬意を表す。リーフレット無事昨日落手あれで、すつかり解つた。吾等はプロレタリアの爲にそうした、ダラ幹とそれ等の行動を合理化しようとする提灯持ちとに眞劍の鬪爭をしなければならない。最近俺は同志を廻つてその意見を聞いて來た。皆双手を擧げてくれた。この運動を支持する事は戰死せし村瀨の仇討にもなるのたからと、俺達は麻生、平野等の番頭であり、和歌山の農民を喰ひものにした、和歌山の農民ボッス反動者山中の專制に鬪つた。奴の組合費の横取懲兵隊の砂糖を喰つた事特高と通じた事實神の如き杉山元次郎氏をダマして情婦にやる金の苦面をしたイエスの使徒賀川の書一枚二枚と數十枚に渡つて小作關係で知り合になれる地主共に十圓廿圓で賣つて居た事等擧けたのた。それに對して正式支部長會議を共産黨の策動に名をかりて流會せしめて常夜スグスパイ土屋某と會見せしを俺に發見され翌日勞働組合の連中に俺を呼び出しに來として俺を負傷さし更に翌日港村支部の幹部會の席上で俺を刺し殺しようとしそれを失敗して十九日深更村瀨をオビキ出して、慘殺したのたそして直にダラ幹共を呼び集め二三の支部長も共に呼び出し強制的支部長會議となし淺沼のリーダするクーデタに俺は除名されたのた。

今和歌山に同じ奴等の犬伊瀨幸太郎、岡崎昇と云ふ奴が農民の上にノシ掛かつてゐる、でも俺達はホンの僅かたが和歌山市たけでも彼等に自由にさせないから安心してくれ。俺も一線の鬪士ではないが未た脈々の階級性は失せない。

奴等と行ひを共にする奴とあくまで鬪ふから、ダラ幹が如何なる事をしようとしても和歌山市の大衆は承知しないよ。

俺達は少數派でも死をもつて支部を守るよ！見てくれ今後の鬪爭を！

血にまみれし和歌山少數派は鬪志あり

清黨運動萬才
福田氏除名反對た！
俺達の黨は俺達が守れ
清黨運動絶對萬才

十一日

大谷　久

清黨運動本部御中

黨大會を開けと肉迫する高知縣大衆

南海の荒波寄せては返すわが高知縣は、「進め」の讀者によつて指導されて來た。最近ダラ幹の一味が乘込んで來たが、大衆は常に行くべき階級的立場を忘れてはゐない。

吾等は清黨運動を支持する。福田氏除名絶對反對。黨執行部を信用しないぞ。

進め

黨大會を即時開催すべし。大衆の力をもつて平野、麻生の反動幹部を粉砕しろ。

（高知Y１生）

暴壓と戰ふ元山ストライキ

全日本の勞働者農民諸君

朝鮮民族の解放なくして、日本無產階級の解放はあり得ない！

諸君は元山大勞働爭議を應援せよ

朝鮮總督府は××を以て暴壓しようとしてゐるぞ。朝鮮京咸南文坪ライジングサン石油會社工場の從業員二百名に對して、會社側は昨年九月の爭議解決の條件を施行しなかつたのに端を發して、該工場は云はずもがな、元山運輸勞働者（國際通運內國運輸）四百五十名の同情罷業となつた。之に對して元山商工會議所は支那人勞働者の募集を始め、一方會社側はストライキ參加の勞働者の全員解雇を斷行した。こゝにおいて本爭議の指導者元山勞働組合は元山の全勞働組合の總ストライキを決議し、一月二十三日朝より埠頭勞働者を初め約千八百名の總罷業となつた。

朝鮮總督府は、野外演習に名を藉りて、多數の軍隊を出動せしめ、朝鮮町の眞中へ大砲を引入れ、發射し、て威嚇してゐる。一方元山商工會議所は仁川商工會議所と謀り、仁川に於て勞働者の募集を初めたが、新幹會その他の必死的反抗によつて、國粹會員二百名様より募集出來ず、之を元山の土木局倉庫に押込めて一人に三人位の監視をつけて牛馬の様に追使つたので、逃亡する者續出してゐる。

こゝにおいて、彼等は組合に對する暴壓の度を加へ、罷業人員に（家族をふくめて約一萬人）に食糧・日用品を支給してゐる消費組合、及元山勞働組合聯合會本部を襲ひ、重要書類を押收しまり、反動團體、愛國婦人會等はこれらの暴壓に呼應して組合壓迫、爭議彈壓に日も之足らぬ有様である。

しかしながら、元山全勞働階級は斷じてストライキを見殺しにはしない。印刷工、洋服工、製靴勞働者等續々參加し元山毎日は發行不能となり碇泊船は出帆不能の有様となつた又北鮮一帶の農民組合では應援米を貨車數輛を以て元山に送りつゝある罷業人員約三千數百名、破產資本家續出の狀態である。

彼等は勞働組合幹部を全部檢擧し刑務所に收容した。この比類無き暴壓下に呻吟せる元山ストライキを應援せよ。

全日本の勞働者農民諸君

諸君は、無產階級を敵に賣りつけんさする反動幹部を排擊し、清黨運動を支持すると同時に、元山大ストライキを應援せよ。

（朝鮮元山支局）

激勵書

組織的權力を多分に持つたダラク幹部は、ひきようにも、日本大衆新聞や其の他を通じてデマゴーグを持つて奴等の罪狀をおほはんとす。然し吾等全國の無產大衆は奴等の逆宣傳に對し、飽く迄日本大衆黨階級性擁護の爲め勇敢に戰はなければならぬ無產大衆の階級的意識を放棄しては絕對に無產階級運動はあり得ない。此の絕大なる意味に於て、清黨運動こそ實に當面の重大なる運動であり眞實の無產階級運動の生命である。

我等島根の大衆は日本大衆黨の旗の下に鐵の如き團結に依り飽く迄清黨運動を支持し、分裂主義者を一蹴し裏切幹部を葬つて戰線を統一し、全無產大衆の合同速進等、又田中反動內閣を粉砕せよの、スローガンに我等は赤き鮮血を以て全國の同志諸君と共に戰ふ事をちかふ

全無產政黨合同速進

分裂絕對反對。戰鬪的階級性を擁護せよ

田中反動內閣を粉砕せよ

清黨運動諸兄の大奮鬪を祈る

日本大衆黨松江支部

準備會

清黨運動同盟御中

京都の大衆は事實の糺明を欲してゐるぞ

前略貴兄等の階級的清黨運動が京都に於て起つた時我黨支部の大多數幹部は自分等の中でごたくた、話があつた様だ、そして演說會を利用なし麻生氏をよんで、貴兄等の指摘した事實をうまく、ゴマカシタ。だが黨支部員には、皆行き渡つて（清黨リーフレット）居ない様だ、私も其の一人として、彼等が云ふた事（麻生や支部幹部）を信じる事が出來ぬ、私等の様な黨員が多くいられる。それ等の者は、大きな不平不滿を今たうする事も出來ぬので、貴兄の云はれる事が事實なれば、色々な、清黨についての事をお知らせ下され、私等多數の平黨員は貴兄等と供に起つ事が出來ると、思ひます、よつて私は貴兄等の發行せられた、リーフレットパンフレット等お送り下されん事をお願ひ致します。

京都　一日勞黨員

全土戰報係より

清黨運動に就いて各地より猛烈な聲明書や激勵が机上に山積してゐるが忽忙裡の編輯の爲め、全部掲載する事の出來なかつたのを甚だ遺憾に思ひます。

清黨運動は反動幹部が日本の無產階級の上から葬られない以上、如何までも、否より猛烈に戰ひ續けた。今迄の清黨運動は中央においての鬪爭に局限された傾きがあつたが、今後全線に波及するであらう。

諸君は無產階級の解放の爲め、清黨運動を大衆的規模の上に展開せよ。戰報を送れ。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

自殺外交

佐々木敬三

張作霖爆死事件を背景として日本の派遣軍の鐵道守備地域が支那側に一時的ながら引渡したのが、日本の有する絶對的排他的な行政權を放棄する事になる、ならんで例の議會は愚にもつかぬ論爭を繰返した。要するに之はモデル女を選定するのに、その着用してゐるの衣服の美醜を云々してゐるのと同然である。民政黨が如何にイキリ立つた所が、某重大事件の眞相や其の意義などに一指も染めはしないのだ。

田中内閣對支那外交を積極的に民政黨は消極的にと云ふが、洋服を着るか和服を着るかの差違に過ぎない。大將田中が「外交には積極消極の差別はない。たゞ一ツである」と答へたのに、民政黨は「其の本來一つである外交に、ことさら積極と銘をうつたのは何故であるか」と反問してゐるのだから、益々八百長ではないか。

日本の資本主義は歐米に遅れてスタートを切つた爲め、殖民地獲得競爭から取殘され充分な領土擴張を経過しないで帝國主義の段階に足を踏みいれてしまつた。であるから、支那、殊に滿州を、その準領土的な半殖民地的地域——即ち勢力範圍——として飽くまで確保しなければならないと、日本資本主義の一致した絶叫があげられてゐる。もつと他の言葉で置き換へるなら、帝國主義的資本主義の世界的水準にまで到達した日本資本主義の存立のためには、支那に於ける列強との爭覇戰——經濟戰に優位を占めねばならぬ、それには日本資本主義の「立ち遅れ」が決定的に「劣敗」の刻印を押すからして、必死的な努力でこの不利な經濟的條件を政治上絶對的な優位により相殺しようとするのである。

大將田中が、賢明な勞農青年を××に山東に驅りたして其の××の保證を××し、無産者の血税を惜し氣もなく出兵駐兵の費用として投出したのは、支那、滿州に於ける政治的優位の維持を目的としての事だ。目的のために手段を擇ばぬ所が反動田中の特色だ。爆死事件の謎は、何時までも「調査中」の辭に藉口して暗から暗へ葬る心算か知らぬが、外字新聞には既に發表された天下公知の事實である。耳を蔽つて鈴を盗むにもまさる愚昧さだ。これら手段を擇ばぬ反動田中のやり口を見れば、誰のやつた事か位は三才の童子でも答へられる。更に、張學良が御意のまゝにならぬと見るや、不戰條約調印の踊れ出して、内田を歐州くんだりまで派遣して、日英再同盟を策した。今頃こんな古臭い事をと思つたら。その人はあまりにお人好しである。日英による支那南北分割政策なのである。これ等の政策の決定的な失敗、更に楊宇霆の失脚銃殺、かくなる上は、反動田中大將も、その失敗を金融資本閥の面前で清算せざるを得なくなつた。これが、急速な對支交渉の動機である。

> **進め戰闘歌**
>
> (一)黄金によろぼへる
> 資本の牙城は傾く
> 勞働者に惱みつゝ
> 吾等の鐵鎖はきれず
>
> **折返し**
>
> いざ進め〳〵
> 農村に工場に
> 突撃の聲高く
> 鬪ひ今やせまる
>
> (二)○○の堰切れて
> 專制夢は裂く
> 黎明の鐘のもと
> ブルヂョア挽歌ぞ響く
> (折返し繰返し)
>
> (三)立上れ同胞よ
> 正義は今ぞ燃ゆる
> ○○の日は近く
> 未來は我等のものぞ
> (同繰返し)
>
> (四)振りかざせ赤旗を
> よろこびの曠野へ
> 民衆は野に山に
> 凱歌を今ぞ擧ぐる
> (同繰返し)
>
> 赤旗の譜

しかも交渉の相手は、昨日まで否認してゐた南京政府ではないか。南京政府の樹立とその強化に反對して暗に敵對行動を爲すべく、邦人保護に名をかりて出兵した大將田中が、今日はその跡始末を昨日の敵と協議しなければならぬとは、これ正に田中外交の自殺である。

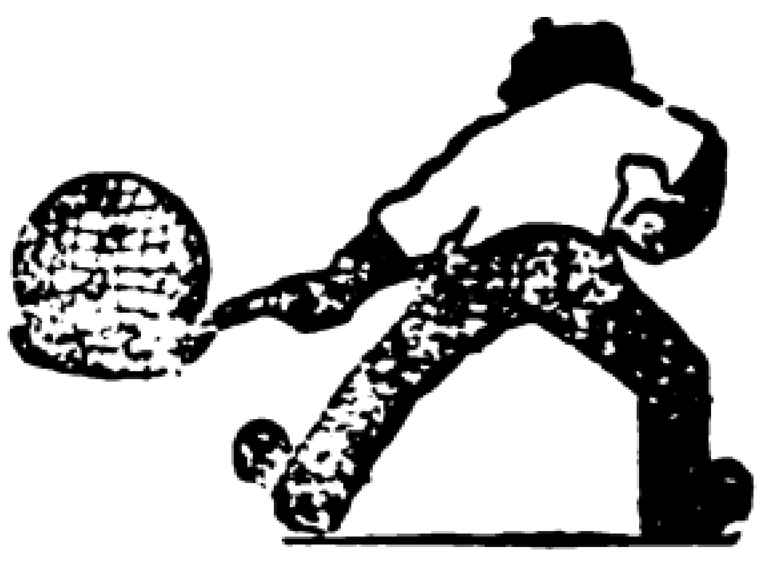
此處に破綻を極めてゐるのは、床次の一派である。この自殺外交を應援するといふのが、民政黨脱退の理由だつたのだから。

支那より手を引け。軍事豫算絶對反對。

此處まで記し來たつた時外電は日支交渉の停頓を報じた。日支の主張が何故に相容れなくなつたかは、支那側が濟南の損害賠償額の決定は日支共同調査委員會を特設してこれに任せ様と提議したからである。日支共同で調査すれば損害額は實際支那側が日本に數倍數十倍するのだ。すると濟南出兵の結論はこうなる。在留日本人のうける損害を防止するための出兵が、損害を増大せしめた爲め名古屋師團を增派せしめる原因となり、その結果は罪なき支那無産大衆の生命と財産を××で、×××の××で滅茶苦茶にしたのだ。消極的な邦人保護の出兵は、積極的な支那無産大衆×××、××と××××に轉化したのだ。然しそれは豫定し計劃しての出兵であり駐兵だ。反動軍閥の骸骨的存在張宗昌が山東省龍口で廿日に五色旗をあげて獨立した。この一際は日本軍駐兵のため北支那に於ける獨立國的形態を示して居た事からして彼は反動田中の糸にあやつられる人形である事は疑ひを許さぬ。

共同調査委員會設置に賛成すれば、これ等の田中大將の罪狀があまりにも明白になる。大將田中の外交はかぢりつき根性は斯様に田中外交切腹を要求する支那側の提議には斷じて應じられぬのだ。されば愈々最後の切ふだである張宗昌による山東獨立の計劃(?)敢行の段取りとなつた。反動田中外交は、今や自殺すら許されず、つめ腹を切らされ様としてゐるが、それでも尚執念深く軍閥を操つて反動的外交の墓穴をめがけてサーベルを振りまはし乍ら吶喊するのだ。反動外交の墓穴とは何、帝國主義××、××、××××、プロレタリヤ××、これだ。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



官憲の垣の中に成立した日本大衆黨中央執行委員會の傍聽實見記

長野縣支部聯合會 工藤勝市

吾等は光輝あるべき我日本大衆黨の創立大會前後より種々なる醜聞を耳にして來た。然し、吾等の合同は「戰鬪的、階級的戰線統一黨」の限りなき大衆の要望のなすところとして、七黨合同の一黨として進んで參加した。然るに何ぞ。僅か二ケ月も經ぬ去る一月二十三日突如清黨たるリーフレットによつて其醜狀は暴露された。續いて「進め」號外によつてより明確に白日にさらされたのであつた。其處に於いて、吾が長野縣支部聯合會は緊急執行委員會を開いて、左の決議文を本部へ送つたのである。

決議文

本部の一部幹部の醜惡なる事實に關しての常任中央執行委員會及統制委員會の詳細なる議事錄を全黨員の前に公表せられん事を長野縣支部聯合會第二回執行委員會の名を以つて茲に要求す

長野縣支部聯合會第二回執行委員會

而して、何等の回答なきため小生他二名の代表者を上京し、本部に其回答を迫つた。平野書記長曰く、「議事錄は一部しかないから絶對に貴方に見せる事が出來ない。もし貴方が焼いたりした場合には私の責任問題だから」――然し私はプリントにした五六册の議事錄を見たから要求したのである。何故、書記長は支部聯合會の代表者に、たとへ一部の議事錄すら見せる事が出來ないのか？それ程書記長は僕を獸漢と見たのである。支部聯合會を侮辱したのである。支部聯合會の決議を蹂躙したのである、で吾々は統制委員會と常任執行委員會の公開を要求した、其公開も四五十名の黨員大衆の要求によつて、又二三の統制委員常任委員の努力によつて辛じて公開されたのである。吾々はそれ迄には黨本部の幹部を絶對的に信じて居た、然し、そうした空氣から實際に統制委員會常任委員會を聽見した時、以外にも多くの醜事實を暴露して驚愕したのである。殊に、最後の統制委員會と、常任中央執行委員會に於いて、露骨に彼等の正體が見たその事實は、

舊日農系統制委員の調査による柴尾與一郎署名になるリーフレット清黨の反說中に「信州大衆黨と島根自由民衆黨の人達が進め社の人や北浜ち一緒になつて柴尾を脅迫した如く書いてあつたのである――（其後中央執行委員會に於いては最早字句を改めてあつた。然し僕は統制委員會の席上、其事は事實でないと辯明してある、それによつても明らかである正しい最後の統制委員會議事錄を參照せよ）偶、該問題の原告たる稲田任二氏に對して一度の質問も調査もなさざる（日勞系統制委員擁當）は全く怪しむに足る事實である

然も事實相違せる反證を以て飽迄正しきものとして主張した事は益々吾々の疑惑を深からしめた。又常任委員會に於いても問題の人物たる平野書記長、河野書記次長を、議長とし、或は其席上に列せしめて、極不徹底なる統制委員の報告文に色々な理屈をつけて泥合戰をやつて居る樣など（無産大衆黨系及、九州の民憲黨の常任の諸原代議士の出席を促し、辯明要求の案に絶對反對する平野、河野始め、日勞日農系の諸氏の常任の暗鬪）何處に戰鬪的階級的戰線統一黨の執行部たる影さへ存在し得やうか」と吾々を嘆息せしめる間、左樣に、不統一不徹底、非戰鬪的、非階級的な烏合の衆であつた。まるで既成政黨の執行部集合の感があつた。吾々は此會と、（勿論此集會では清黨問題を大衆の壓力と三四の常任の努力――眞相を飽く迄追求した――とによつて、決議を見ず、中央執行委員會に廻付するの醜態をとつたのである）――次回の中央執行委員會の實見傍聽によつて又々完全に其眞相を知り得たのである。

其の眞相を記したいが紙面が許さぬから略す。但し、勞農新聞號外（二月二十日發行）に記載されしものな正しきものと認めるから御一讀を乞ふ。

特に明記すべきは、中央執行委員會決議の議案中に「最後には常任に一任すべし」の一項である彼等はブルヂョア代議士によつて、一黨員の清黨運動を解決しやうとしたのである、何んと、反動的であらう哉よ！否々これが中央執行委員會の決議草案とは全く、言語同斷又止千萬の極である。

特に我々の目を瞠ろかし、落膽失望せしめたのは、彼等が官憲の垣の中に此の最も階級的に行はるべき中央執行委員會を其嚴戒の中に議事を續行せしめた事である、亦我々は――恐らく傍聽者全部が――官憲によつて、我等の黨の中央執行委員會傍聽券を檢閲されるの光榮を得たのである、

これが戰鬪的な階級的な、戰線統一黨の吾等が黨の執行部が吾々支部聯合會代表及黨員大衆にとつた態度であつた何んとよくも反動化した執行部であることよ、

全黨員諸君。緊褌、決然奮起せよ。正しい大衆の壓力を以て此ダラ幹を我が黨本部から追ひ出せ。清算せずして何何にして我々が最も階級的な、戰鬪的な戰線統一黨をして果敢な鬪爭を展開し得やうか！

議會即時解散、打倒田中反動内閣・惡法治安維持法絶對反對の叫びと共にダラ幹排擊の決議文を叩きつけろ！而して、我黨の階級性を守れ！。果敢な日常鬪爭を展開しろ！

（紙面の都合で詳く書けない事を遺憾とする、また此問題色々な醜事實がある、例へば河田統制委員の問題、反動暴力團問題、金錢取引問題等々あるが次號に詳記する事にする）

勞農青年同盟の危機に闘へ

中川徹

一月廿日、全國勞農青年同盟は其の創立大會を持つた。戰線統一主義の旗の下に、七黨が合同して日本大衆黨の誕生した事は、無産青年運動にも重大な影響を與へ、無産青年運動は統一的大衆的青年同盟樹立への一大巨歩を踏み出した。一九二八年四月解散された舊全日本無産青年同盟の青年大衆、舊日勞黨の青年大衆、これに加ふるに無産青年運動戰線統一の大旗を眞先に押立てゝ來た舊日本無産青年同盟、此等を中心にして更に舊日本農民黨の青年大衆の參加を豫定せる全國勞農青年同盟の結成こそ即ち之である。この事は、前號に於て、舊日本無産青年同盟の觀點に立つて叙述したが、この誕生して幾干もない全國勞農青年同盟が、今や重大な危機に立つてゐる事を大膽に卒直に大衆に訴へ、且つ同盟の今後行くべき道も大衆の討議に附さねばならぬ時機に直面してゐるのである。

× × × ×

舊全日本無産青年同盟の犯した誤謬は、青年同盟が大衆的規模の下に構成され發展せしめられねばならず、從つて鬪爭目標も鬪爭形態も大衆的でなければならなかつたのに、襲ひ來る反動支配への英雄的自己滿足的手段的鬪爭を主張する分子が決定的な指導權を握つて、××青年同盟に變質した事である。我等は固より××青年同盟の存在理由と價値を否定せんとするものではない。これは、段階に於て絶對に必要である。併し大衆的青年同盟の存在と、それへの緊密な結合とを前提とし得て、始めて××青年同盟は本來の機能を發揮し得るのだ。この前提條件、基礎的な條件を失つたのが失敗であつたのだ。但し××青年同盟と大衆青年同盟とが時間的に何れが先行すべきであるかの問題は自ら別である。それは「組織」と「活動」の可能範圍によつて決定される。この間の認識は極左の諸君と聊か異なる所であつて我等は、大衆的青年同盟を先づ結成すべく努力し、また其の大衆的青年同盟を強化せしむべく、統一的なる事を要求したのである（註この點は既に論議完了してゐる）しかも、我等の築いた無産青年運動の保壘は「可能なる範圍」内で行はれた。從つて舊新黨準備會内に殘留する青年大衆や、反動的幹部の抑壓と專制に喘いでゐる社會青年同盟を打つて一丸とする日を將來に殘したが決して是を放棄したのではなく、同盟結成と同時に青年團體會議を開催して「可能なる範圍」の擴大を共同鬪爭の展開によつて計りつゝある。だが、先づ「可能なる範圍」で結合し結成した同盟は、他の青年團體とは、理論的對立を甘受しなければならぬ。これは不可避的である。日本無産運動の分裂狀態が無産青年運動の分野にも及ぼす不可避的な問題である。我等は敢然として我等の理論を展開しなければならない。そして實踐に移して戰ひ抜かねばならない。

だが全國勞農青年同盟自體としては、内部に何等の對立がないか。そうか。云ふまでもなく、大衆的なるが故に、種々の分子を含んでゐるから、對立は無論ある。構成分子は勞働者層、貧農層、小市民層等更に之を細分すれば幾多の層からなり立つてゐる。この横斷的な區別に加ふるに、結成過程の示す如く種々な指導精神の下に敎育され鬪爭し來つた縱斷的な舊團體の實體的對立がある。

今後全國勞農青年同盟が強力な鬪爭を展開し反動政府の彈壓とブルヂョア共の搾取との前に怯みなく肉彈を以て戰はんとするならば、大衆的の名に隠れて「無能」と「無爲」に沒して、同盟を結成當初の紛々たる混沌狀態に一刻も措く事はならぬ。これぞ、輝ける全國勞農青年同盟の諸君に課せられた當面の任務なのだ。極左の孤立的××青年同盟――組合青年部を通じて「孤立」とか「自慰」とかいふ袷衣を脱がんとしてゐるが――と、たゆみなく生長しながらも反動幹部に追從してゐる社會青年同盟との理論的對立を甘受しなければならぬ全國勞農青年同盟は内部に於ても大膽に理論的對立の存在する事を認識し、これを大衆的討議と批判に訴へねばならない。大衆的青年同盟とは、單に雜然として種々の分子を包含してゐる丈けのものではない。そんな團體は一の目的意識の下に、有意的に結ばれたものではない。また「共同戰線黨」的主張も我等の同盟にあてはめる事は出來ぬのだ。舊無産大衆黨の諸君が、日本大衆黨を「共同戰線黨」と稱してゐるが、問題毎に對立しなければならぬ黨内黨の存在を許容するものは、何等の鬪爭をも爲し得ないではないか。事實があまりにも雄辯である。

所が、全國勞農青年同盟が今や重大な危機に立つてゐるといふのは「この内部的對立を如何に處理し、而して大衆的青年同盟が、構成的には大衆的でありながら、個別的網羅でなくて有機的全一體としての行動體となり得るか」と云ふ問題が、あまりにも憶病に取扱はれ、大衆から隠蔽されてゐるからである。

我等が、全國勞農青年同盟の危機と稱する所以のものは、何等の危機でもないのだ。たゞ、憶病と隠蔽とが、」何でもなき問題をして重大な危機を生しめたのだ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

以上、抽象的に流れたが、かゝる抽象的な事を云はしめた具體的内容は、日本大衆黨の首腦反動幹部の醜事實の暴露に伴ふ同盟内部の動搖と混亂とである。

我等が抽象的に取扱つてきた一般的な問題の解決は、同盟が協合主義者をも含めての結合によつて生れた以上相當の時日を必要とする。併し一時も猶豫してはならぬ。それにも闘せず、同盟は結成後忽ちにして各團體の「聯合」的結合で墮落してしまつた。それは、同盟の結成以前、既に多數の同盟員の加入せる日本大衆黨の幹部の賣勳問題が喧傳され實證されつゝあつたのに、結成當時、あたかも風馬牛の態度をとつた事に起因する。困難な内部整理の問題を持つ同盟が、結成以前にその解體的運動を起さしむるが如き問題を内包してゐたのだ。されば我等は、創立大會に於て、同盟の綱領とする「階級性擁護」の任務を力說し、日本大衆黨の統制委員會の監視を要求した。この問題は同盟自體の問題でないから、充分態度を明かにし多少の冒險とは云へ同盟の獨自な立場を展開することにより一層強い紐帶を用意すべきであつた。しかるに情弱な日和見主義者の一派は、醜幹部擁護派の尻馬におぞくも乘ぜられて、我等の眞面目なる提案を葬り去つた。大會の名に於て、全同盟員の意志として、かゝるダラ幹共と徹底的に抗爭する同盟の旗幟を一度揭げたなら、その階級的立場を嚴守する我等同盟の陣營には如何に幾多の階級的熱情に勇躍せる戰士が馳參じた事であらうか。そして、團體的結合による容易とけざる内部的對立を一時に解消し得たのである。

たが、既に問題一歩を誤ては東西相見ざるに至るものた。其後一ケ月間、日本大衆黨の醜事件の影響の擴大化に伴つて、同盟内部に反映してゐる諸勢力の反撥的傾向は、一層深刻化しつゝある情勢である。

故に我等は此際に、日本大衆黨幹部の醜事件によつて明瞭にされた同盟内の對立各派の理論的根據と主張とを徹底しよう。青年大衆の批判と討議に訴へて、同盟の進むに行くべき道のいづれにあるかを決定せねばならぬ。世には、動搖分裂を怖れて事態を隱蔽する卑怯者がある。そして彼等は、自分等こそ團體を守る者たと云ふ。ふざけた奴ではないか。眞にその團體を守るものは、動搖分裂を怖れるが故に事態を白日の下に曝して勞農大衆の面前で、その批判と討議の下に處理する。更にかゝる事は亦勞農大衆を生長せしめる事も併知らねばならぬ。「知らしむべからず」式の封建的頭腦の所有者を運動圏外に放逐せよ。彼等は反動以外の何物でもありはしない。

では如何なる流れを見るか。

（1）西日本農民黨の諸君。

此の一群は、全國勞農青年同盟に何等の積極的支持をなさぬ。日本大衆黨細胞といふ事たけで、黨の内意に從つて農民組合や黨の役員諸氏を同盟に送つて役員たらしめたゞけに過ぎぬ。大會の席上、政黨と同盟の關係を規定する同盟は、「日本大衆黨の戰線統一主義に協力する」といふ議案の討議に當り。我等は無產青年運動戰線統一の必要上むしろ、「戰線統一主義の黨に協力すべき」事を主張したが、彼らは「日本大衆黨」の五文字を揭げざれば脫退する旨言明したのである。彼等は、同盟を政黨の一機關視しようとした。日本大衆黨占領の野望に燃ゆる平野力三が派遣した同盟内の出張員たる役割を果しつゝある。我々は勿論、地方の西日本農民黨の農村青年大衆をもかく評價せんとする者ではない。大衆諸君こそ、これ等諸君を裏切る一群を放逐すべき力と責任を有する事を信じてゐる。

大衆黨の統制委員河田某は、同盟の役員であるが、東京毎夕新聞の傳ふる所では、黨の醜事件を解決すべき役員會の日、暴力團を雇つて同盟の中央常任委員某に危害を加へんとした相である。この事は事實であるか、虛構であるか、同盟内部の問題化しつゝある今日、ブルヂョア新聞にまで書きたてられた今日、一片の辯明書をも同盟に提出せざる彼は、果して清淨潔白な人物であるか、それとも？とに角、平野の派遣員は、黨外に在つて黨の反動化に抗爭する同盟を内部から骨抜きにせんがために努力してゐる。

（2）西日勞黨の諸君。

この内に二派あるを知る。一は清純な前衞的氣魄を具へて、同盟を一個の有機的全一體としての行動體たらしむべく我等と步調を一にし、一切の問題を階級的見地に於いて觀、無產青年の立場より行動せんとしてゐる。他は、ダラ幹と行動を共にせん事を誓つた諸君である。あらゆる會合に於て、同盟員大衆の耳目を他に轉ぜしめんと必死になつて、其の態度は殆ど反動以外の何物でもなく同盟の闘爭さへ知らぬ顏の半兵衞をきめ込んでゐる。彼等は完全に協調主義的反動へ轉落した。昨日までは我等の同志の如くであつた彼等のあまりにも淺ましき態度を我等は痛憤せざるを得ぬ。

（3）無產大衆黨。

此處にも二派がある。

一は飽く迄、同盟の立場から——即ち綱領階級性擁護の立場から日本大衆黨のダラ幹を追求し、これによつて同盟を闘爭體として育てあげんとするもの、

然らざるものは、該問題を事實と認めつゝも、ダラ幹に遠慮やる方なきも、一時的な動搖を怖れて、日本大衆黨中央委員會（醜幹部をとりまくお手先どもの溫床）が、盜賊が俺は盜みはせぬと自問自答して自ら欺いてゐるのと何の相違もない、潔白證明の決議を承認して、一切は後日に讓つて立ちむかうといふ一派である。彼等は此問題は、眞相がそのうち明瞭になるたらうから、それまで待つた方がよいといふのた。これが完全な日和見主義でなくて何た。ダラ幹を取りまく連中の數が多いから恐れを爲してゐるのではないか。勞働者農民は、ダラ幹の味方では決してない。裏切者を支持する者の一群に、此の日和見主義者も亦加へられねばならぬ。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

我等は、日本大衆黨の今回の問題によつて同盟内部の諸對立が明白になり、しかも該對立の分解も行はれた事を知る。

即ち反動の一味と、日和見主義者の一群と眞正マルキストの一團とである。

我等は大衆的青年同盟の存在と發展との合法的根據を有する限り、これが存在を××青年同盟の存在と活動の必要條件とする。されば、反動も日和見主義者も包含しては行く。併し其の各の指導者に對しては假借する所なき理論的對立の下に抗爭する。全國勞農青年同盟の創立當初、彼等日和見主義者の一群は、いかにも眞正マルキストの如く裝つたが、馬脚は創立大會で表れはじめ、遂に徹底的にその化の皮を剝がれる時がきた。

全國勞農青年同盟は、內に反動と日和見主義を克服し外に××青年同盟の何たるやを知らぬ極左の××青年同盟の孤立化を戒め、右に社會青年同盟大衆の成長を助長せねばならぬ。更に一段と喉をそらせて、我等のスローガンを絶叫しよう。そしてこのスローガンを闘爭埸裡にもちこめ。

打倒田中反動內閣

帝國主義戰爭の危機と闘へ。

福田狂二除名に對する抗議書

我が日本大衆黨島根縣聯合會は福田狂二に對する黨本部の除名處分に就いて左の如く抗議する。

一、昭和四年二月十三日黨中央執行委員會の決議せる福田狂二除名は本聯合會に於て之を認めない黨本部に於ては直ちに復黨の手續をとられたい。

理由

一、日本大衆黨中央執行委員會は本聯合會に籍を有する福田狂二に對する除名處分を決議した其の理由は、

イ、リーフレット「清黨」並に「進め號外」に記載せられたる事實は常任中央執行委員會の嚴密なる調査の結果事實無根なる事明かなり。

ロ、無根の事實を組織的に流布し黨の統制を惡辣的に攪亂したる福田狂二を除名す。

にあるにせるも、イに就いては「常任中央執行委員の嚴密なる調査の結果」とあるけれども、事實は常任中央執行委員會に於て何等調査を遂げて居ない。其の證據は古市、鈴木、黑田の三常任の辭任と辭任理由に依つて明である。

更に統制委員會の調査に於ても毫も「事實無根」なる事は明瞭にされてゐないのみか、疑惑を深む可き幾多の事實さへ現出したのである、之の證據は統制委員會の調書及統制委員會の常任中央執行委員會にあてたる、意見書に於ける「明瞭なるが如く」に依つて未決定の儘にて放置せられたる事明である、其の他周圍の事情諸種の風聞及び統制委員會、常任中央執行委員會中央執行委員會に於ける本聯合會の代表の傍聽等によつて(イ)の理由は之を認めない(ロ)に就いては(イ)に於て「事實無根」ならざるものを「事實無根」として其の上に立脚しての(ロ)の決定なるが故に(イ)の問題が解決されない、以上(ロ)の決定は出來得るものでない、また黨の統制を惡辣的に攪亂したるものとして認むべき點なく、更に無産政黨の階級的立場を冒瀆したる點も、出し難く從つて除名の理由は成立しない、惟ふに無産階級戰線にあつて我々の忌むべき第一のものは反階級的行動である。たとへ百萬の大衆ありと雖ど階級的行動なき政黨は既成政黨と何の選ぶところがない、況して我等の血に依つて獲たる鬪爭が我等の許し難き敵支配階級の手に左右せしめんとする以限あるに於ておや、七黨合同、日本大衆黨の結成も階級戰線の强大化を約束すべき戰鬪的結合の意義に於てのみ我々の階級的熱意を寄せた爲である、此の我々の切なる要求が日本大衆黨本部の反動的固定化の故に裏切られんとする時「清黨」リーフレットの出現は此の危險性に一大警鐘を與へたものに外ならない、恐らく全黨員大衆諸君は此の警鐘の故に此の裏切的、反動的危機を克服し一切の反階級的行動に對して嚴重なる批判を加へ一路階級鬪爭への進出を覺悟したに違ひない、

我々は日本大衆黨、此の大衆政黨が飽くまで階級的に戰鬪的に守るであらう、凡ゆる分裂的危機と戰ひ反動的裏切りと鬪爭し黨の階級性强大化の爲に死力を盡して戰ひ拔くであらう、我々は其の爲に更に黨內に於ける批判の自由が徹底的に主張するものである、全勞農大衆黨員諸君が我等の政黨、日本大衆黨を階級的に身を以つて支配階級の雅双から防衛せんが爲に黨內民主々義の確立こそは唯一の武器であらねばならぬ、斯くて活潑なる日常鬪爭の展開へ！

以上我々の福田狂二除名に對する抗議の理由であり態度である

昭和四年二月二十一日

日本大衆黨島根縣聯合會

日本大衆黨本部御中

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前號所載の幸德傳次郎

特別讀物 ――第五齣――足尾の爆發――

社會主義運動思出話（其八）

岡野辰之介

一、濛々たる黑煙

春とは名のみ、山地は雪に蔽はれ、寒林粗疎、風は身を切る刃のやうだ。宇都宮から足尾に到るには、細尾峠といふがある。登り一里、下り一里、其の頂きからは足尾の町が一目に見える。

明治四十年二月六日、晝少し前、三人の縛られた男達が、四人の護衛巡査に押送せられながら、足尾の方から登つて此の頂きに差掛つた。一里の坂道を登つて來たので、送らるゝ者も護送する者も、ハアハアいつて居る。護衛の一人が、

「一服やつて行こうぢやないか?」

といひ出した。他の巡査が、

「よからう!」

と合槌を打つた。

七人は思ひ〳〵に枯芝の上に腰を卸した。そして七人は期せずして足尾の方に向つて居た。

ト、見れば濛々たる黑煙が足尾の町から上り出して、物凄いこといふばかりでない

「ア、やつたぞ!」

押送せられる中で、一番背の高い、そして痩て肉落ち骨出で、眼光の鋭い男が、かう叫んだ。他の二人も、

「ウム」「ウム」

と呻つた。巡査は何をやつたのか分らない。其の中の一人が、瘦躯長身に向つて、

「何をやつたんです?南君!」

此の瘦躯長身の男こそ南助松であつた。南はこう答へた。

「火藥庫たよ。アノ煙を見たまへ、家の燃える煙ぢやないよ。切角僕が鎭撫して事なきを得やうとしたのに、君等が僕を引張つて來たから、こんなことに成つてしまつたんだ。モウ足尾は滅茶々々だぜ。」

巡査の一人は、

「僕等が引張つて來た譯ではないが、命令で仕方なしに連れて來たんだから、惡く思つて吳れては困る」

押送せられる中の一番年笠なのが、

「夫れはそうだよ。君等が僕等を引張る權能はないのは分つてる。知つてる通り南君の鎭撫で一時彼等は靜まつたんだ。だから今朝僕等が拘禁されたのを聞いて、彼等はキット警察へ押し寄せ、奪返しやうとしたに相違ない。其の時にはモウ吾々が居なくなつた跡なので、爆破に掛つたに相違ないよ。」といつた。

「何しろ僕が居なければ鎭撫は出來やしない。一昨日の小騷動で非常に亢奮して居るんだからナ。僕が非常に骨を折つてヤット鎭撫はしたもの、何時爆發するか知れぬと内心懸念して居たんだ。僕が居なければ、丁度奔馬の抛を脫したやうなものだ。困つたことに成つたナ」

と南がいふ。年笠なのは永岡鶴藏で、モウ一人一番年若なのが非守伸午であつた。

被押送者は顧望去る能はずといふ風であつたが、巡査にセキ立てられ、後髪引かるゝ思ひで立ち上つた。護送者の方では、坑夫が今にも後から群を成し、喊聲を上げて追ひ縋つて來るやうな氣がして、被押送者の尻に鞭を加へてゝも、道を急がせたく思つたに相違ない。

妻子の安否は如何に、同志の安否は如何に！居所に引かるゝ羊の思ひで三人は其の夕刻宇都宮に着き獄裡の人となつた。

二、積弊の一掃

東洋一の銅山、國産の主要部分を占めた足尾銅山は、此日を以て爆破せられてしまつた。煉瓦といはず、熔鑛爐といはず、事務所役宅、見張所、悉く破壊せられ、焼棄てられ、其の損害實に百萬圓（當時の概算）と稱せられた。併し、此の大爆破を馴致したのは、決して一朝一夕ではない。そして古河市兵衛が生きて居た時には、「礦夫を遇する頗る其の宜しきを得、礦夫皆喜びて其の業に就けり」と判決理由に書いてあるが、夫れは保證の限りでないが、當時の所長南挺三になつてからは「自ら奉ずる甚だ厚く、礦夫を遇する極めて苛酷にして、秋毫も假借する所なく、坑夫が自家の薪に供せんとして一小木片を坑内より持ち去るも、猶之を罰するに至る。其の他勞働時間を延長し、毎月二日の休暇を廢止し、加之其役員は威福を擅にし、賄賂を逞ふし賄賂を貪らざる者殆んど稀にして、甚だしきは自ら進みて賄賂を促すに至り、賄賂に由つて賃銀の多寡、業務の難易を異にし、礦夫の不平に堪へずして苟くも役員の命に從はざる者あれば、忽ち下山處分と稱し、忽ち解雇せられて一朝生活の途を失ふに至る。是を以て怨嗟憤懣其の極に至ると雖も、之れを洩らすに由なく涙を揮ひ聲を呑みて苦役に就けるもの茲に年あり」と之れも宇都宮地方裁判所の判決理由書にあるんだから、そして一々其の證憑を上げてあるんだから、愈々間違ひなきことを保證する。

「古河市兵衛歿後は坑夫の賃銀が物價の騰貴に伴はざるも措いて顧みず、尊いで南挺三の礦業所長となるや、礦夫を遇する苛酷にして秋毫も假借せざる事實」といふに面白い所がある。右は巡査石川宇吉の報告書だといふから、之れも確定此の上ない。

第一、南挺三赴任したる時より以後は、坑内より腐朽したる澤山の木材を薪に供する爲め持ち出すときは罰金に處す。古河市兵衛存生中は此事なし。

第二、南所長以來役員の採用は支柱夫に限る。古河市兵衛存命中は技倆の如何により勞働者より採用したり。

第三、古河市兵衛存命中は坑夫等一ヶ月二三日位休業するも減米の制裁なかりしに、南時代よりは一日缺勤する時は一升五合を減じ渡すことを定行す。

第四、古河市兵衛存命中は勞働者勤務時間は六時間なりしに、南時代より八時間と改正したり。

第五、古河市兵衛存命中は一ヶ月二日の公休なりしが南は之れを廢止す。

第六、古河市兵衛存命中は一ヶ月公休二日の外二日位缺勤するも、本番五十錢二日分の賞與ありしに、南時代よりは罰金五錢たりとも徴收さるゝ者には賞與を給せず、

甚しきに至りては入坑五分間を遅れ、出坑五分間を遅るゝ時は、五錢より二十五錢位の罰金を科する規定を設け實行したり。

第七、古河市兵衛存命中は正月及び山神祭には、一般勞働者に、酒肴を與へたるも、南時代よりは全廢したり。

「又礦業所役員が威福を擅にし、賄賂を逞ふし賄賂を貪り、甚だしきは進んで賄賂を促し、賄賂に由りて賃銀の多寡業務の難易を異にしたる事實」といふ所に證據が澤山あるが、其の中「能登賀次郎豫審調書に工手渡邊丙太夫に對する一般の風説は、同人に金をやれは樂な所に廻され、金をやらねは惡い稼ぎの場所に廻されるとのことにて、自分も昨年（明治三十九年）十一月二十二日の勘定日の頃金五圓を貸せと申す故止むを得ず同月二十五日頃金五圓を同人に送りたり。同年十二月中に自分の手子濱吉と大和卷煙草二十個入り一個を同人役宅に持參したり」とある。今もこんな事は盛んに行はれはしまいか。

三、飯場制度坑夫を虐ぐる

今日では飯場制度といふは全國何處にもなくなつた。丁度監獄部屋といふやうなものであつたらしい。そして礦業發達の當初には、何處の礦山でも此の飯場制度といふのがあつた。此の惡制度を日本から放逐したのは、實に南助松のおかげといつてよい。飯場の惡辣な一例は、ハガキ一枚一錢であつたが、之れを一錢五厘取る。勿論坑夫は一文も持つて居ない。だから借りるのであるが、勘定に成れば五厘利子をつけて差引かれる。切手は二錢だつた、二錢五厘取られる。煙草も既に專賣に成つて居たが、大きな袋を小分けして一山二錢位にして賣つて居た。イヤ借して居た。そして一袋に就いて何錢といふ規定外の利益を見て居た。夫んな暴利を貪さなければよからうと思ふが、勘定の受取り方を飯場（親方を頭役といふ）に委任してあり、本人には一文の金錢も自由にさせず、況んや金を持たせるなどゝいふ事は絶對にしなかつた。金を持たせると逃るからである。

夫ればかりではない、事務所では前月の勘定は、今月の二十日でなければ支拂はないことにしてあつた。假りに現金を支拂はれたとしても、月末までの借りを支拂ふことが出來ない。一日から二十日までは矢ッ張り借に成つてる譯で、何時も借金に縛られるやうな仕組に出來て居た。實に資本家のやり方は巧妙にして惡辣、今日とても少しはかり改善したに過ぎない。

飯場では何でも賣つて居た。そして坑夫米は南京米に限り、役員米といふ日本米は坑夫には絶對に賣らなかつた。其の南京米もヒドいもので、籾が一割も這入つて居たといふから驚かざるを得ない。南助松が勞働至誠會の支部を起すや、爺媼や子供まで此の運動に參加すれば、今に日本米が食べられるといつて、歡喜渇仰したといふことである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當時本番賃錢五十錢で、南京米一升は三十五年に十三錢五厘、味噌一貫目二十七錢十貫目七十三錢位であつて、三十九年末には一人の仕拂ひ額一日七十七八錢であつたといふ。此の上に減米といつて米の供給を斷たれたり、罰金の二十五錢も科せられたものなら、食ふことの出來ぬのは勿論である。山一といふ男が四十五日稼いで、僅に十五錢にしかならないので、憤然下山したといふが、之れも判決正本に載つて居る加之、役員からは犬猫のやうな扱ひを受けて居たのであるから、坑夫多年の怨嗟憤懣が、何時か爆發せずには居られまい。

四、勞働同志會と勞働至誠會

足尾に於ける勞働運動の始祖ともいふべきは實に永岡鶴藏であつた。勿論彼は片山潜の雜誌「社會主義」や「勞働運動」等に刺戟せられ、「週刊平民新聞」が出てからは、之れに敎へられた事は勿論である。南助松は西川の「ジョン・バーンス」と「改革者の心情」に感化せられ、勞働運動者として起つに至つたといふ事である。

永岡が勞働同志會を起し、勞働者保護を唱道したのは明治三十七年で、坑夫の入會するもの相續くに至つた。併し勞働運動者の通弊である「會費使ひ込み」を彼もやつたので勞働同志會は遂に振るはなくなつた。何でも百二三十圓。ダルマを買つたのが分つたんだといふ。

南助松は夕張炭礦の坑夫であつた。彼は地下何千尺に潜ぐり、石炭粉を呼吸し、夜は演說會を開いて坑夫の自覺を促した。そうして出來たのが勞働至誠會であつた。彼は坑夫としては學問もあり、熱血男子で、一度口を開けば熱血はとばしるといふ概があつた。されば信者も多く出來、勞働至誠會は日に盛んに趨いたのであるが、足尾の飯場制度を打破したいと考へ、遂に夕張を去つて足尾に勞働至誠會支部を起したのである。當時夕張には飯場制度はなくなつて、賃錢は會社から坑夫へ直渡しとなつて居り、至誠會は坂本龍馬の甥子坂本某といふ技師や、其の他の同志がやつて居たのである。

南助松が足尾へ來たのは明治三十九年十月、實に足尾爆發の四ケ月前であつた。茲に勞働至誠會支部の看板を掲げた彼は、勞働者の地位向上、智識開發、人格陶冶等を標榜して、猛運動を開始した。勿論永岡鶴藏を初め、林小太郎、井守伸午、山本利一郎等舊勞働同志會の幹部が之れに加はつて彼を助けた。彼が足尾に來てから開いた演說會は、

三十九年十月二十九日	花柄平
十二月五日	金田座
同 七日	いろは座
同 十六日	花柄平
同 二十二日	いろは座
同 二十四日	金田座
四十年一月八日	同
同 九日	いろは座
同 十一日	花柄平
同 二十六日	金田座
同 二十九日	いろは座
二月一日	古足尾

此等が何時も千人以上の聽衆があつた。そして勞働者の團結の急とストライキの有力な事を絶叫するものだから、何れも非常の感動にて拍手喝采せざるはなかつた。

何時の會だか餘り聽衆が沈んで居るので彼は赤インキを口に含み、演說中に之れを唇からダラ〱垂らすと、南が舌を噛んだといつて、聽衆が泣いて有難がつたといふ話もある。

五、彼を神に祭らん

多くの坑夫に向つて彼は足尾を下山させられたら、北海道に連れて行くとて生活の保證をし、會社に向つては飯場全廢、賃錢値上げを要求するといふ事であるから、婦女子供に至るまで「日本米が食べられる」と喜んだのも無理はない。數月にして彼の信望は大したものとなり、爆發當日までに入會したもの一千七百人に致つた、全山の從業者一萬二千五百人中掘夫ばかりで三千二三百人あつたが、之れは全部加盟することゝなつた。

それはかりではなく、南が死んだら山神様と同座にして石塔を建て、お祭りすることになつて居たといふから、人間死すべき時に死ぬものだとツク〲思はせられる、

かくて坑夫の團結も略々出來たので、二月十一日の紀元の佳節を以て、飯場制度撤廢、賃錢値上げ、其の他二十餘個條の要求を會社に向つて提出することに成つて居た

一月二十六日にやつた彼の演說は「南挺三に三寸の舌刀を呈す」と。題であつたが其の演題に赤インキで〇をつけやうとする途端、インキが瓶から溢つて刀の側に落ちた。そこで仕方なしに之れを其の附近にほとばしらせて〇をつける事は止めた。すると後日檢擧せられるや、題は舌刀となつて居るが無智の坑夫に刀を以て南挺三を刺しかくの如く血を流さしめよといふ意味だつたらうと、散々檢事に責められたといふことである。

又彼は十一日を以て二十餘條の要求を會社に提出する時には、自分は白裝束で額に白の三角布を結びつけ、死ぬ覺悟で先頭に進むつもりであつたといつて居るから、モシ彼の暴動が四日に勃發しなかつたら、或は彼は神様に祭れて居たかも知れぬ。好事

度多しか？

六、暴動起る

飯場制度を廢して、直接會社が坑夫に賃銀を渡すことに成ると、百三十ばかりの飯場は飯の喰ひ上げに成る。そこで彼等も結束して起ち、至誠會に先んじて三十錢の賃銀値上げ、其の他十二個條の要求を會社に提した。又山中さて古株の坑夫連も之れと呼應して賃銀値上其の他十七個條の要求を出した。

會社は見込損害を豫期し頭役等をして支柱夫、運搬夫、雜夫等を使嗾せしめ、通洞坑内に暴動を起さしめたのである。それは四日の朝交代の時であつた。暴徒は坑内見張所を破壊し、尚ほも荒狂ひ、何を仕出かすかも知れぬ有樣である。

南助松は丁度起きて顔を洗つて居ると、通洞坑内暴動の報が來た。そこで彼は先づ永岡鶴藏に鎭撫するやう命じて赴かしめ、後から其所に行つたのである。併し何故に今日暴動を起したかは知らない、そこで暴徒に向つていつた。

「諸君！今輕擧妄動しては、會社側に好個の口實を與へ、折角の運動を一時中止しなければならない。モシ諸君が暴動を續くるならば、僕は此の運動から手を引くがよいか？諸君が僕を信じ、僕に任せるならば、穩健でなければならない。ドウだ諸君が退かないなら僕が引くが……」

といふと暴徒は「南さんがア、いふんだから、皆退散しやう」と退散した。

所が通洞の暴動を傳へ聞いた本山の坑夫は、其の眞意を知らないから、後れて成るものかとこれも暴動を開始したのである。之れも南助松が行けば鎭撫は出來たのであるが、會社も警察も南助松の手を借らうとしない。否却て彼れを檢擧してしまつた。彼れを暴動の教唆者煽動者にして監獄へ送り込めば暴動は鎭まるし、賃銀値上もせないで濟み、飯場も今迄通り何時までも安全だと思つたのである。

卽ち知る、四日の小暴動は實は南助松等至誠會の運動者を引つくゝる口實を作る爲めであつたのである。そして彼等を六日の朝警察に引致し、坑夫に奪還せられるのを恐れて直に之れを宇都宮に護送してしまつたのである。案の如く坑夫は南助松等捕縛の報を聞くや、大擧して警察署に迫つた。時既に遲し彼等は宇都宮に發足してしまつたので、是に自暴自棄となり、先づ手始めにダイナマイトの山積みしてあつた火藥庫を爆破したのであつた。

此の報一度東京の日刊平民新聞に傳はるや同社からは西川光次郎を特派記者として差向けたのである。所が南助松は足尾で日刊平民新聞の取次ぎをやつて居た、そして演說會では團結の必要を說き、ストライキの最も力ある武器であることを說いたので日刊平民と足尾暴動とは何等かの關係があると官憲は見込んだ。そこで西川光次郎がやると來ると、ドッコイ廻さぬと直に監獄へブチ込んでしまつた。

西川が投獄せられた事が分ると、日刊平民からは荒畑寒村を特派したが之れも日刊平民新聞記者ではアブないといふので、二六新報記者守田有秋の名刺を大急ぎで刷つて彼れに持たせ、足尾に向はせたのであるが新聞記者は何處の新聞記者でもまかりならぬとあつて、荒畑は足尾に入る事が出來ず、途中から宇都宮に引き返した。隨分ヒドイ目に合つたのである。

七、家族に退去命令

二月の中旬であつた。新富座の隣にあつた日刊平民新聞に、足尾から花恥しき十九ばかりの身重の佳人と、四十ばかりの坑夫のお神さんとが訪づれて來た。若い身重の婦人は南助松夫人で、足尾を退去命令で退去させられたものである。一所に來たのが加藤榮松夫人ふじ子であつた。

南助松は其の家に至誠會足尾支部といふ看板と、日刊平民新聞取次ぎ所との二ツを掛けであつた。暴動が勃發後官憲は之れが撤去を命じた。モウ其の頃は南助松は留守であつたが、夫人は日刊平民新聞取次ぎ所の看板は撤したが至誠會足尾支部の看板は容易に取らなかつた。之れ・官員が訪づれて來て、容易に分らないと困るからであつた。官憲は度々撤去を命じても應じないので、遂に劫を煮やし此の可憐な婦人に對し退去命令を發し、之れを足尾から叩き出してしまつたのである。

以上は筆者の思出話ではなくて、寧ろ南助松の思出話である。此の稿モ少し續く。

堺爲子女史より　堀坂除興のペトロポーロフスカヤの洋服は加藤崎子女史のを借りたのではなくて、支那の革命婦人何震女史のを借りたのでした何震女史とは坂本清馬さんが、近しく往來して居たので加藤崎子女史から借りて來るより、面倒がないからとチヨツト行つて借つて來たのです。

岡野生曰、加藤夫人から借りる筈に成つて居たやうに聞きましたから、夫れを書いてしまつたので申譯ありません。何震女史は私も知つて居ます。支那の御飯を戴いたことがあります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社だより

×

三月が來た。

顧みれば昨年二月の總選擧を機會として政治的進出を爲し初めた日本無產階級勢力に恐怖したブルヂョアジイの彈壓は、遂に昨年三月十五日の××××大檢擧さなり白色××の具體的攻勢を大衆の前に示した。

×

今この記念すべき三月を迎へて階級的陣營の緊張するの時期無產階級解放の爲めに戰ひ來た、我々進め社勢力の爲すべき事は何であるか。日本大衆黨内部に巣喰ふもつ我々は先づ支配階級の彈壓に呼應する日本大衆黨の平野麻生の反動幹部をけ破り、又それに引づられてゐる日和見主義者の一群の正體を大衆の面前に暴露し、それらが決して大衆の味方ではない事を立證する事でなければならぬ。

×

われ等は先に清黨運動同盟に參加し先づ第一段の戰ひにおいて、ダラク幹部の本質を暴露し、廣汎なる大衆を動員する事に成功した。しかし乍ら、平野一派が無產陣營にゐる限りわれわれの清黨運動は戰ひ拔かれるであらう。清黨運動は單に個人を目標とするものではない。階級戰線を攪亂する反動主義者、社會民主主義をうち破る事である。こゝにおいて、進め社は、全國的組織の結合を先づ圖るべく全國支局網の提唱を試みるであらう。

×

本誌は内容一新した「清黨運動」號である。清黨運動が如何なる物であるかと云ふ事を、何人にも明かにする事が必要であるからた。その爲めに、時評創作その他を次號に廻し、或ひは減少するの止むなきに至つた。

×

三月上旬開かるべき全國農民組合全國大會を控へて同志伊倉君の寄稿を得る筈であつたが、多忙の爲め執筆のなかつたのを殘念に思ふ。又、同志吉田君の「清黨運動」に關する寄稿を得たが二十六日になつて漸く到着したのでその爲め發行が遲れるに至つた事を、[illegible]た讀者に謝ふ。

×

全土戰報に就いては、全土戰線の末尾において轉載してをいたが、多くの戰報を掲載する事が出來なかつた。しかし今月の全土戰線ぐらひ活氣の横溢してゐた事は曾て無いであらう。これを見ても、清黨運動が如何に大衆の要望であつたかゞ分る。

×

進め情報及び指令によつて、各支局に對しては洩れなく通知したが、ダラ幹一派の逆宣傳が盛に飛んでゐる、デマゴーグに屈せず、全土の勞働者農民の一人一人の手に「進め」が行き渡る樣に戰はれたい。支局規定を申込め！尚、進め情報、進め指令を受けたい讀者諸氏はその旨申込んでおいて下さい。

×

進め社研究會は、清黨運動によつて一時的に中止してゐたが、最近復活するから、希望者は大至急申込め。

×

リーフレツト「清黨」を發行した本誌の藤田狂二氏を日本大衆黨のダラ幹が遂に除名に處した。しかしその除名理由のあいまいなる日本大衆黨は果して階級政黨なるや否やをうたがはしめるものである。これに就ては、本號所載の事件顛末記及び日本大衆黨島根聯合會の發した除名反對の抗議書を見ても明かである。日本大衆黨の中央執行委員會に「藤田狂二除名反對」の電報を送られた數百の同志に對し、厚く感謝の意を表するものである（多忙の二月廿八日）

金.銀.白金
德力商店
電 神 25 216. 235. 221. 976. 450.-
東京神田松田町

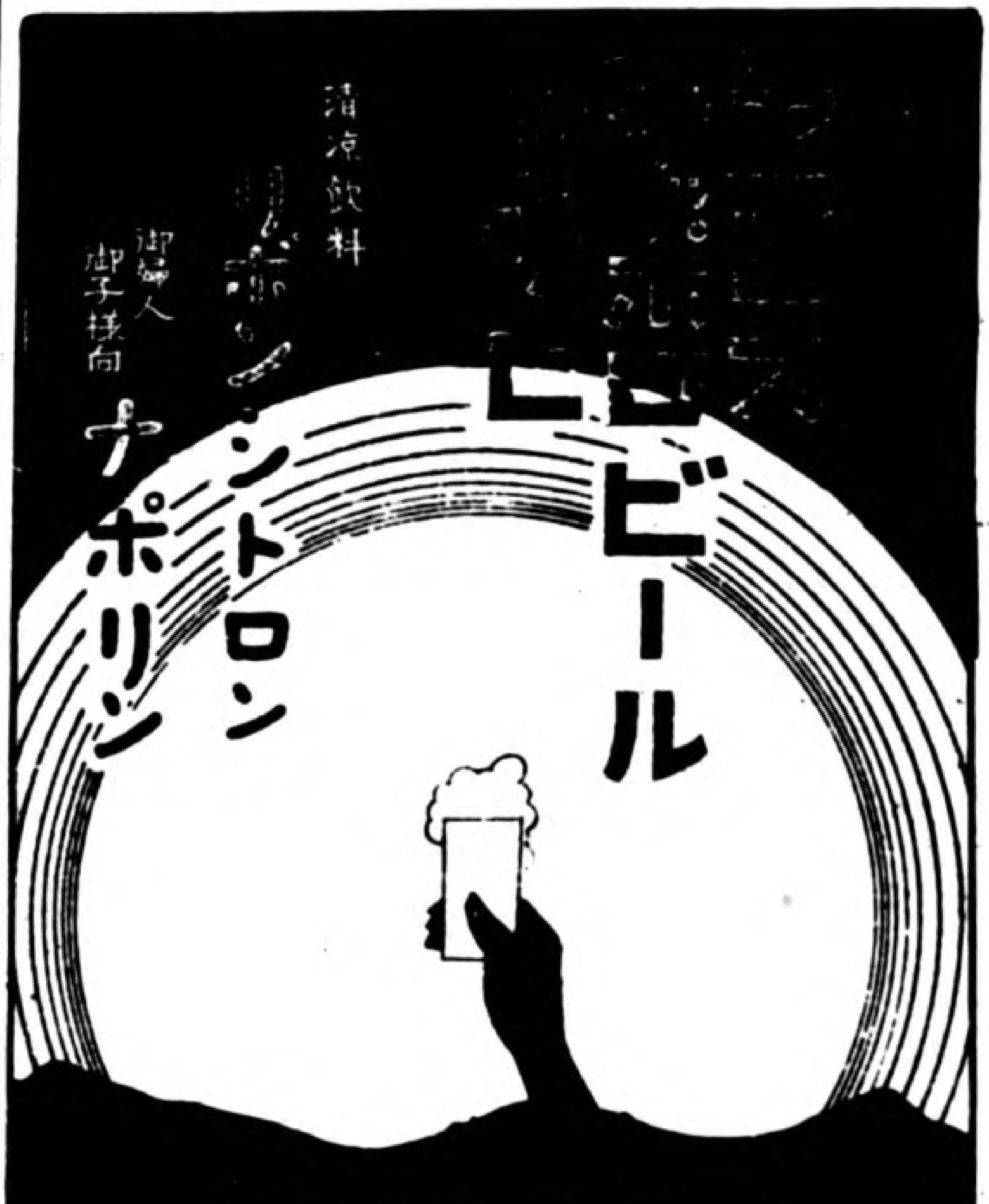
無產階級の診療所
平民病院
東京市京橋區木挽町

喜谷實母散

清新趣味と實用に綾なす
內外のあらゆる流行品豊富
地方よりの御注文は御手紙にて通信販賣係宛に御願ひ申します
三越
大阪市高麗橋

東京上野良品廉賣銀座
松阪屋
大阪日本橋實用百貨名古屋

クツとカバンはアオキに限る
東京銀座



大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和四年三月一日發行
同四年二月廿八日印刷納本
第七年第三號
每月一回一日發行
定價一部十錢（郵稅五厘）半年六十錢 一年一圓（稅共）
廣告料 一行一圓 一頁三百圓
發行所 東京市芝區南佐久間町一丁目十八番地（振替東京六九八三） 進め社本部
發行編輯兼印刷人 神路仲之助 大阪市東淀川區十三西之町三 大阪事務所